工 事 概 要 書

1.工　事　名；上平出介護予防センター　改修工事
2.建　設　地；上伊那郡辰野町大字平出７４５番地５
3.発　注　者；上伊那郡辰野町中央１　辰野町長　加島範久
4.工　　期；平成　　年　　月　　日から　平成　　年　　月　　日まで　　日間
5.確 認 通知；~~平成　　年　　月　　日　　第　　号~~
6.官公庁検査；~~基礎配筋検査（保険保証機関）　平成　　年　　月　　日~~
~~躯体構造検査（保険保証機関）　平成　　年　　月　　日~~
~~建物竣工検査（建基法第七条）　平成　　年　　月　　日　建築主事~~
7.敷地の概要；辰野町都市計画区域･･･　内　　用途地域････　指定無し
防火関係････　　指定無し　　そ の 他････　----
建 蔽 率；　60.00 %／ ---- %　容 積 率；200.00 %／ ---- %

8.そ　の　他；本工事は、本概要書・仕様書および設計図書・特記仕様書によるものとする。

上平出介護予防センター改修工事　仕様書

一 般 事 項

1. 上平出地区における高齢者を対象とした介護予防事業や、住民の交流を深める拠点としてより使いやすい施設にする改修工事を行う。
2. 工事における安全対策は、施設の使用形態上万全を期すること。
(1) 工事中に施設の使用がある場合には、耕地総代と協議のうえ、火災・転倒・盗難などが発生しないよう対策を講ずる。
(2) 前項の想定を超え事故発生が生じた場合に備え、工事記録を確実に実施する。
(3) 工事工程は、責任者（総代）と入念な打合わせを行い、連携をとること。

3. 解体・撤去する機材は、「建設リサイクル法」に従い、適切な処理を行う。
(1) 粉塵の飛散および安全対策のため、解体部分はシート・テープによる仮囲いをする。
(2) 粉塵は、吸引・払拭などにより室内に飛散したものは入念に清掃を行う。
(3) 発生材は、コンテナなどに集積し、いたづらや飛散に対処できる措置を行う。
4. 設計図書に記載された工事を行うために、既存の躯体などに重大な欠陥が認められた時には、すみやかに監督員に申出を行い、その指示に従う。
5. 設計図書に記載された工法・機材は、最低基準を示すものであり、その目的や機材などが同等以上であれば、施工者のノウハウを活かし、独自の提案を行うことができる。
6.

改 修 工 事

1. 建　築　工　事
(1) 既存の躯体部分の改修箇所は、原則として無い。
(2) 改修による間仕切などの変更は、既存部材寸法に倣い凹凸が生じないように留意する。
(3) 仕上げ材の変更・改装工事において、既存の下地などに欠損・強度不足が見られる場合は、直ちに監督員に報告し、協議を行いその指示に従う。
(4) 工事用仮設進入路の開設に当っては、残存させる外壁材と新規の材との取合いを考慮して切断には留意する。
また、必要に応じて補強材を新設すること。
(5) 新設する手摺の取付けに当たっては、下地補強を確実に実施し、脱落無きよう注意する。
(6) 再使用しない既存の外壁材の貫通開口部は、断熱材を充填し、風雨の進入しないように被覆・シーリングを行う。

2. 給排水衛生設備工事
(1) 既存地中梁・外壁材の貫通口は、すべて再利用出来るように計画してあります。現場に合わせて工夫して下さい。
(2) 小便器・掃除用流しの壁内配管の保守点検の為、壁仕上げ材の脱着が出来るようにする。
下地組みを含め、監督員・建築工事関係者と連携を確実に行う。

3. 電 気 設 備 工 事
(1) 便所の電気設備は、出来る限り残存させ、延長・分岐施工をして下さい。
(2) 既存回路の切断は、残存部分への通電を確保する。
(3) ーー

建築工事特記仕様書

1. 本仕様書は、主として中規模建築物の工事に適用するものである。なお本仕様書は、国土交通省大臣官房庁営繕部監修“公共建築改修工事標準仕様書”及び“公共建築工事標準仕様書”並びに、住宅金融支援機構監修“木造住宅工事仕様書”を援用する。
2. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて一般共通事項覧記載の各仕様図書による。
3. 特記仕様書の適用は下記による。
(1) 事項、適用する工事は、番号に ○ 印及び ● 印のついたものを適用する。
(2) 項目は、番号に ○ 印のついたものを適用する。
(3) 細目は、文頭に ● 印または ○ 印のついたものを適用する。
(4) その他の特記事項は、表・（　　）による。
(5) 特記事項末尾の（　）内表示番号は、公共建築工事標準仕様書および前掲の仕様書の当該項目を示す。

1. 一 般 共 通 事 項

番号	項目	細目・特記事項
①	設計図書に関する疑義	⊙工事契約前においては質疑応答書をもって確認する。 ⊙工事途中においては、打合協議記録簿を作成して確認する。 (公 1.1.8)
②	図書の優先順位	⊙本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。 1.現場説明書（質疑応答書を含む） 2.特記仕様書 3.設計図・内訳明細書 4.公共建築改修工事標準仕様書 （平成 最新 年度版） 国土交通省大臣官房庁営繕部監修 5.同 上　機械設備工事編 （平成 最新 年度版） 国土交通省大臣官房庁営繕部監修 6.同 上　電気設備工事編 （平成 最新 年度版） 国土交通省大臣官房庁営繕部監修 7.長野県機械設備工事施工手引 （平成 最新 年度版） 長野県建設部施設課 8.長野県電気設備工事施工手引 （平成 最新 年度版） 長野県建設部施設課 9.建築物解体工事共通仕様書 （平成 最新 年度版） 国土交通省大臣官房庁営繕部監修 10.標準詳細図 国土交通省大臣官房庁営繕部監修
③	使用材料	⊙本工事に使用する材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたものを使用する。 ⊙同等品に替える場合は、見本品・性能表などを呈示し監督員の承諾を受ける。 ⊙化学物質を放散する建築材料等の選定においては、ホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆の表示品を原則とする。また、接着剤・塗料の施工に当たっては、施工方法・塗布量を十分に管理し、施工時・施工後の通風、換気を十分に行い、放散した溶剤成分等の希釈をはかること。
④	特殊な材料工法	⊙共通仕様書に記載されていない特殊な材料の工法は、当該製品の指定する工法による。
5.	電気保安技術者	⊙適用しない　・適用する (公 1.3.3)
⑥	発生残材の処理	⊙構外搬出適切処理 (公 1.3.8) ・発注者に引渡しを要するもの ・ ・特別管理産業廃棄物 ・有り　・無し（　　） ・現場再利用を図るもの ・発生土　・建設汚泥 ・再生資源の利用を図るもの ・アスファルト塊　・建設汚泥　・混合副産物　・コンクリート塊　・発生木材
7.	技能士	・適用する　⊙適用しない (公 1.5.2) 〔鉄筋工事〕　・鉄筋工 〔コンクリート工事〕　・左官　・型枠工 〔鉄骨工事〕　・構造物鉄工　・とび 〔ブロック建築〕・ＡＬＣパネル施工　・カーテンウォール施工 〔防水工事〕　・防水施工 （・アスファルト防水工事作業　・各種合成ゴム系シート防水工事作業　・ＦＲＰ防水工事作業　・シーリング防水工事作業 ） 〔石工事〕　・石材施工 〔タイル工事〕・タイル張り工事 〔木工事〕　・建築大工 〔屋根及びとい工事〕・建築板金　・スレート施工　・瓦葺き施工 〔塗装工事〕　・塗装 〔建具工事〕　・サッシュ施工　・ガラス施工 〔内装工事〕　・内装仕上施工 （・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業 〔植栽工事〕　・造園
	表示	・一級技能士を採用している旨を現場に表示すること。
8.	別途工事等との取合い・協議	・別途工事、設備工事については、工事行程、納まりなどについて当該業者と密接に協議し、調整に当らなければならない。 (公 1.1.7) ・配管工事のスリーブ及び壁・天井に埋込まれる器具類の補強工事は、本工事に含む。
⑨	工事標識の掲示	下記の標識を、監督員の指示する位置に掲示する。 ⊙工事標識　・建設業許可票の写し標識　⊙労災保険関係成立票の写し ・工事施工体系図
10.	化学物質の濃度測定	測定対象化学物質：　・ホルムアルデヒド　・トルエン　・キシレン (公 1.5.9) 測定対象室・測定箇所数：　・図 示 測定方法：　空気の採取（　・拡散方式（　・測定バッヂ　・ﾊﾟｯｼﾌﾞｻﾝﾌﾟﾗｰ ）・吸引方式　） 分析方法（　・高速液体クロマトグラフ法　・ガスクロマトグラフィー質量分析法 ）
⑪	工事保証・その他	⊙建物竣工後（ 2 ）年間 なお、いわゆる"瑕疵"によるものは、保証期間後においても誠意をもって、改善につとめなければならない。
⑫	工事記録・完成図等	書類は、Ａ４版２穴バインダーファイルへ一括綴りとし、表題・背文字を記入する。 (公 1.7) ⊙施工計画、検査に関するもの：（ 2 ）部 ・施工図データ　⊙工事写真、竣工写真　⊙工事日誌　⊙工事打合せ記録簿 ⊙配管、機器類の耐圧漏洩試験表　⊙監督員の指示したもの ⊙完成写真（改修工事の時は、着手前と完成写真を左右に入れたもの）：（ 2 ）部 撮影箇所：　・外 部（　　）箇所　・内 部（ 10 ）箇所 ⊙工事写真：　⊙電子納品　・べた焼き　⊙サービス判（ 2 ）部 ・工事完成図：（ 2 ）部 ⊙完成図ＣＡＤデータ（ＣＤ－Ｒ）・Ａ２版２ツ折り製本　⊙Ａ３縮小版２ツ折り製本 ・案内図　・配置図　⊙各階平面図　・立面図　・断面図または矩計図 ⊙仕上げ表（製造所名・品番記入） ⊙配管平面図　・配管立図 ⊙保全に関するもの：（ 2 ）部 ⊙機器取扱説明書　⊙性能試験成績表　⊙機器一覧表（製造所・型式記入） ・官公庁届出書類　⊙工具、予備品　⊙工事関係資料等引渡書
⑬	保険等	⊙請負者は、本工事の工事目的物・工事材料等について火災保険を掛けなければならない。 また、その満了日は引渡日に１ヶ月を加えた期間とする。 ⊙工事期間中、請負者の責任と負担により、労災保険に加入すること。
14.	住宅瑕疵担保責任	・住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託をすること。
⑮	その他	⊙暴力団関係者から工事妨害等の被害を受けた場合は、被害届けを速やかに警察に提出すること。

2. 特 記 事 項

◉ 仮 設 工 事

1. 設計Ｇ Ｌ	・現場指示　・図 示
2. 監督員事務所	・請負者事務所内の一部を利用する (公 2.3.1) ・面 積（　　）㎡ 程度　・備 品（　　）
③ 仮設電力	構内既存の施設：⊙利用できる（　・有償　⊙無償 ）・利用できない
④ 仮設用水	構内既存の施設：⊙利用できる（　・有償　⊙無償 ）・利用できない　※ 100Vに限る
⑤ 仮囲い	構 造：・鋼製　・木製　・単管　／高 さ：・1.00m　・2.00m　・3.00m 仕上材：・安全鋼板　・丸波カラー鉄板　⊙防炎シート　・ロープ
⑥ 清掃・跡片付け	⊙既存の構築物などを損傷した場合には、すみやかに復旧する。

◉ 解 体 工 事

① 解体の方法	内部造作・金物（鋼製建具）・ガラス等を分別撤去後躯体構造物を解体し、最後に基礎構造物の解体を行う。 ・ＲＣ造　階数:　面積:　㎡ ・ＣＢ造　階数:　面積:　㎡ ・Ｓ　造　階数:　面積:　㎡　⊙一部内部造作・設備機器のみ ・木　造　階数:　面積:　㎡
2. 解体工法	

工法 ＼ 機種・適用箇所	解体原理と使用機械：解体原理	解体原理と使用機械：機械の形式・駆動装置	適用箇所
・ハンドブレーカーエ法	ノミの打撃	・空気圧式:コンプレッサー ・油圧式:油圧ポンプ	
・大型ブレーカーエ法	ノミの打撃	・白走式:油圧式ベースマシーン ・空気圧式:コンプレッサー	
・圧砕工法	油圧による圧砕	・白走式:油圧式ベースマシーン ・懸垂式:クレーン	
・カッターエ法	ダイヤモンド円板ソーによる研削	・白走式:レール式 ・円板カッターの駆動装置	
・ワイヤーｿｰｲﾝｸﾞエ法	ワイヤーソーによる研削	・固定式:駆動装置	
・火薬類発破工法	衝撃破壊	・ダイナマイト系 ・コンクリート破砕器	
・スチールボールエ法	スチールボールで打撃	・白走式:クレーン	
・転倒工法	転倒及び衝撃による破壊	独立平面ラーメンの場合柱脚をＶカットする	
⊙その他	手による解体		

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	001	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課	
1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	

Plot:150830
D:¥ﾌｪﾙﾐｰﾃﾙ¥WIN7¥030T14¥上平出改001特記1.jww
150812

◉ 木　工　事

① 使用木材の樹種　木材の種別・部位別樹種は下記による。 (5.1.4)

種別	部位・室名	樹種	(寸法)
土台	浴室	・栗　・桧　・ヒバ　・防腐処理済土台	(120×120)
	一般	・桧　・ヒバ　・唐松　・ソ唐	(120×120)
管柱	和室・客間	・桧　・米栂　・ヒバ　・米松　・杉	(120×120)
	その他	・桧　・米栂　・ヒバ　・米松　・杉	(120×120)
通柱		・桧　・米栂　・ヒバ　・米松　・杉	(120×120)
梁・桁 小屋組	見え隠れ	・松　・米松　・唐松　・欧州松	
	見え懸り	・杉　・米松　・唐松　・欧州松	
化粧屋根		・桧　・ヒバ　・米栂　・ピーラー　・杉	
間柱、貫		・樅　⊙栂　⊙松　・杉	
造作材	一般	・桧　・ヒバ　⊙米栂　・ピーラー　・杉	
	框・床の間	・桧　・ヒバ　・米栂　・ピーラー　・ケヤキ	
	和室・客間	・桧　・ヒバ　・米栂　・ピーラー　・杉	
	ﾎﾟｰﾁ・ﾃﾗｽ	・桧　・ヒバ　・米栂　・ピーラー　・杉　・サワラ	
	その他	・樅　・米栂　・ピーラー　・アガチス　・サワラ・杉	

⊙代用樹種に替える場合は、表5.1.1による。
人工乾燥材の使用　　・使用する（　　）

② 木材の等級
見え懸かり部分の JAS・JIS 規格による品質
管柱・通柱：　・無節　　・上小節　・小節　　・一等
造作材：　⊙無節　　・上小節　・小節　　・一等（不透明塗装下）

3. 集成材
造作用：・階段材　・上框、式台　⊙カウンター　⊙額縁　⊙木枠
化粧張り造作用：・階段材　・上框、式台　・長押　　・床の間
構造用：
化粧張り構造用：

4. 防腐処理　・クレオソート塗り　　・キシラモン塗り　　・工場加圧注入 (5.1.7)

5. 防蟻処理　・クレオソート塗り　　・キシラモン塗り　　・土壌処理 (5.1.7)

6. 面材構成耐力壁　・構造用合板 12㎜　・シージングボード 12㎜　・ダイライト 12㎜ (5.4.1)
・ハードボード 5㎜　・パーティクルボード 12㎜　・石膏ボード 12㎜

7. 面戸板　・タルキ同寸落し込み　・化粧桁欠込み

8. 火打梁　・木製 90×90　　・鋼製(Zマーク品) (5.8.6)

9. 面材水平構面構造　使用する部位（　・屋根面　　・２階床面　　） (5.8.7)
使用する面材（　・構造用合板 12.0㎜　・構造用合板 24.0㎜　　）

◉ 造作工事（内外装建材工事）

1. 二重床下地板張り　材種：・挽板 12.0㎜(荒ｶﾝﾅかけ)　・挽板 15.0㎜(同前項)　・コンパネ 12.0㎜ (10.4.3)
・構造用合板 12.0㎜　・構造用合板 18.0㎜　　・構造用合板 24.0㎜
室名：

2. 外壁下見板張り　工法：・竪羽目　　・よろい下見　・押縁下見　　・横羽目
水切：・銅板　　・カラー鉄板　・木地現し (住 8.5.4)

③ 石膏ボード張り　製造所：⊙吉野石膏（タイガー）
形状：⊙Vカット（ベベル）　　・テーパー　　・平型 (14.6.3)

4. 吸音板張り　種別：・ロックウール　　・炭酸マグネシウム　・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ (14.6.1)
品質：・ダイロートン（

5. フローリング張り　種別：・フローリングボード　　・フローリングブロック (14.4.1)
・モザイクパーケット
工法：・モルタル埋込工法　・くぎ止め工法　　・接着工法

6. 天然木床用合板　特殊な床用合板は下記による。
・大建工業

7. 木造階段　形状：・箱型　　・透かし　　・半透かし (公8.13)
材種：・集成材　　・化粧単版板張り板　　・ピーラー　　・ラワン
手摺材種：・集成材　　・米松　　・アルミ押出型材
〃寸法：・φ36　・φ45　・φ60　・45×60　・60×90
積層材種：・銀タモ　　・タモ・ケヤキ　・桜　　・ナラ　・米松

⑧ くぎ　ボード類の取付は、接着剤併用のうえ下記による。 (18.4)
合板仕上面：　・ステンレス丸頭釘　　・カラー釘　　・黄銅釘
クロス張下：　⊙小ネジ　　・ステンレススクリュー釘　・亜鉛メッキ釘　　・ステープル
ラスボード：　・小ネジ　　・ステンレススクリュー釘　・亜鉛メッキ釘　　・ステープル

9. 床柱・銘木　品質・寸法などは、下記による。

室名					
品質					
樹種					
寸法					
備考					

⑩ カーペット敷き　品質・工法などは下記による。 (14.3.1) (18.4)

室名	工法	下敷き材	品質・規格
事務室・ホール	ﾋﾟｰﾙｱｯﾌﾟ工法		サンゲツ・NT400 程度
研修室・会議室	同上		同上
階段・廊下	同上		同上

⑪ ビニール床シート・タイル類張り　品質・工法などは下記による。 (14.2.1) (18.1, 18.2)

施工箇所	材料・品質	厚㎜	接着剤	継目	その他
男女便所	ｻﾝｹﾞﾂﾌﾛｱｰ 店舗用	2.3	酢酸ビニル	熔接	

⑫ 壁紙クロス張り　⊙壁紙、クロスの品質・等級は、仕上表に記載されたものを用いる。
⊙防火性能を要求された箇所は、２級認定品以上を用いる。 (14.7.1)

13. 防音・遮音構造下地材　種別：・高比重物質配合塩ビシート　・同左マット　・同左複合板
製品名：
製造所：・大建工業　　・パナソニック

◉ 左官・タイル・石工事

1. ラス張り　・メタルラス　・ワイヤーラス　・リブラス　　・ラスシート　・アングルラス
・シージング用リブラス (11.2.3)

2. 止め釘　・また釘　　・タッカー釘（機械打）　・SM40釘 (11.2.3)

3. 力骨　・φ2.6(#12)　・φ3.2(#10)　　・φ4.0(#08) (11.2.3)

4. モルタル塗り　目地の種別は下記のものとし、位置・間隔は指示による。
壁目地：・目地棒使用　　・コテ目地　　・塩化ビニール（内壁）
床目地：・黄銅目地棒　・コテ目地　　・ステンレス目地棒 (11.3.4)

5. プラスター塗り　・ドロマイトプラスター　　・石膏プラスター (11.4.1、11.5.1)

6. しっくい塗り　・顔料（ (11.6.1)

7. 土壁塗り　・砂壁　　・大津壁　　・しっくい　　・繊維壁 (11.7.1)

8. 繊維壁塗り　繊維壁、京壁材の品質は下表による。 (11.8.1)

施工箇所	商品名(製造所)
--	・わら利休(四国化成)　　・本京聚楽(日本繊維)
	・本京聚楽(日本繊維)　　・ジュラクサンド(日本壁材)

9. タイル・石張り　使用材料の品質、工法は下記による。 (公10.1)(11.1)

室名	部位	工法	寸法	品名	役物	備考
				御影石		水磨き

※ 乾式工法は、製造所の指定する下地材の取付工事を行なう。

10. コーナービード　材種：・ステンレス　・アルミニウム
長さ：・天井まで　　・2.00㎜

11. 硬質着色床　・カラークリート（ABC商会）　・カラークロン(日曹マスター)

12. 珪藻土塗り　使用材料の工法などは、下記による。
工法：・聚楽壁　　・スタッコ　・梨子地　　・ヒキズリ　・スパニッシュ　　・ウェーブ
下地材：・石膏プラスター　　・セメントモルタル　・耐水石膏ボード
製造所：・四国化成

◉ 建具工事

1. アルミサッシュ　色調：・シルバー　　・ブロンズ　　・ブラウン ⊙シャイングレー　　・白　　・黒

2. 二重サッシュ　使用箇所：・居間　　・洋室　　・ＤＫ　　・浴室　　・洗面所

3. 雨戸　・断熱材入　　・アルミよろい板　　・木製

4. 雨戸戸袋鏡板　・アルミよろい板　　・アルミ下見板型

5. 網戸のメッシュ　・ステンレス（　・便所　　・厨房
・サラン（　　・上記以外

6. 自動扉　検出装置の種別：・圧力式　　・熱感知式　　・光電スイッチ　　・接触 (建 16.6.2)

7. 軽量シャッター　下記の組み合わせによる。 (建 16.10)(建 16.11)
開閉機構：・電動（手動併用）　・手動　　・バランス　　・チェーン
自動開閉：・熱感知　　・煙感知　　・無線電波　　・水圧
スラット：・鋼製　　・ステンレス　・アルミニウム　　・ＦＲＰ
採光開口：・ガラス　　・網入ガラス　・ポリカーボネイト　・アクリル版
収納ｹｰｽ：・角型　　・丸型　　・不要

8. 木製建具障子紙　・内山紙　　・化学和紙　　・ワーロンシート

⑨ 木製建具用彫込みレール　材種：・アルミニウム　　・強化木材　　・竹　　・
型式：・敷居固定型：　⊙Ｖ型　　⊙平型　、・吊り戸型；　⊙Ｃ型　　⊙Ｌ型
※ 専用戸車を使用する。

⑩ ガラス (12.8.1)
・普通板ガラス：・Ａ級　　・Ｂ級
・摺り板ガラス；・全面摺り　　・1/2摺り　・模様入
・磨き板ガラス：・フロート　　・磨き
・型板ガラス：・かすみ　　・梨地　・クロス　　・つずれ　　・　　）
⊙複層ガラス：空気層の厚さ　・5～6㎜　⊙10～12㎜　　・18～24㎜
・熱線吸収ガラス：　・ブルー　　・ブロンズ　　・グレー
⊙樹脂系板：　・アクリル　　⊙ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ　・ﾜｰﾛﾝﾌﾟﾚｰﾄ
・特殊ガラス：・強化　　・熱線反射　・合わせ　　・Ｘ線遮蔽鉛

11. 装飾ガラス　・アキレスクリンクルグラッス　　・クリスタルウォール (建 16.13.5)

12. ガラスブロック　四方枠：・木製　　・アルミ　　・ステンレス
種別：・可透視　　・不透視　　・熱線反射　　・指向性　　・リズミカラー

⑬ ガラスの嵌込み　・クレイジングガスケット　・ジッパーガスケット　　・シリコーン (16.13.4)

14. かぎ（鍵）　マスターキー：　・作製する　　・作製しない (16.7.4)
鍵箱：　・30本　・60本　・120本　　・200本

◉ 塗装工事

1. 防火材料　屋内の壁、天井の仕上材は、基材同等の規格品を使用する。 (公 11.9.1)

② 素地ごしらえ　各部の素地ごしらえは、下記による。 (公 13.2.)
⊙木部　　⊙Ａ種（不透明塗料塗り）　　・Ｂ種（透明塗料塗り）
⊙鉄鋼面　　・Ａ種　　⊙Ｂ種　　・Ｃ種
・亜鉛メッキ鋼面　　・Ａ種　　・Ｂ種
・モルタル、プラスター面　　・Ａ種　　・Ｂ種
・コンクリート、ＡＬＣ面　　・Ａ種　　・Ｂ種
・ボード、合板面　　・Ａ種（継目処理工法のとき）・Ｂ種（その他）

③ 錆止め塗料塗り　塗料のの品質は、下記による。 (公 13.3.)
鉄鋼面：　　・Ａ種（鉛丹さび止め）⊙Ｂ種（一般さび止め）・Ｃ種（水系さび止め）
亜鉛メッキ鋼面：・Ａ種（鉛酸ｶﾙｼｳﾑさび止め）　・Ｂ種（変性エポキシ樹脂プライマー）
・Ｃ種（水系さび止め）
各部の工法種別は、下記による。
鉄鋼面：　　⊙Ａ種（見え懸り）　・Ｂ種（見え隠れ）
亜鉛メッキ鋼面：・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

④ 合成調合樹脂ペイント　塗料の種類：　・１種　⊙２種 (公 13.4.2)

⑤ 塗装工法の種別　各種塗料の工法は、下記による。 (公 13.4.3～13.11.2)
⊙木部合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）　⊙Ｂ種　・Ａ種（　　）
⊙鉄部合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）　⊙Ｂ種　・Ａ種（　　）
⊙クリヤーラッカー塗り（CL）　⊙Ｂ種　・Ａ種（　　）
・フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）　・Ｂ種　・Ａ種（　　）
・ラッカーエナメル塗り（LE）　・Ｂ種　・Ａ種（　　）
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り　・Ｂ種　・Ａ種（　　）
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP-G）・Ｂ種　・Ａ種（　　）
⊙有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）⊙Ｂ種　・Ａ種（　　）
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)　・Ｂ種　・Ａ種（　　）

6. マスチック塗料塗り　塗料の種類：　・アクリル樹脂エナメル　　・つや有合成樹脂エマルジョンペイント
工事の種別：　・Ａ種　　・Ｂ種　　・Ｃ種（凸面処理仕上げ） (公 18.17.)

7. 木材保護着色塗料塗り　塗料の種類：　・キシラモン（　　）(公 13.13.2)
・キシラデコール（　　）
・ウッドファンデーション（　　）
・ボイル油（　　）

8. 外部建具まわりのシーリング　・ウレタン　　・ポリサルファイド　　・変性シリコーン (公 9.6.)

9. 合成樹脂塗り床　種別：・ポリエステル系　（　　）
・ポリウレタン系（　　）
・エポキシ系　（　　）
工法：・薄塗り　　・流し延べ塗り　　・ガラスクロス入り　　・ノンスリップ

辰野町役場　保健福祉課
〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地
TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307

Plot: 150830
D:¥ｱﾙﾊﾞﾄﾛｽ¥W1DW¥W1X0203T1.¥上平出介護予防センター上平出定¥002特記2.jww
150812

◉ 断熱構造化工事　（住宅金融支援機構：省エネルギーに係る仕様書を参照）

1. 省エネルギー基準	・等級２　・等級３　・等級４ (住省ｴﾈ 1.1)
2. 地域区分	・Ⅰ地域　・Ⅱ地域　・Ⅲ地域　・Ⅳ地域　・Ⅴ地域 (住 7.1.1)
③ 気密工法の適用	⊙適用しない　・適用する (住省ｴﾈ 1.5)
④ 使用材料	材料の種類、厚さなどは下記による。 (住 7.3.2)

部位	施工箇所	区分	種類（製品名）	厚(mm)	備考
天井	外気に面する部分				
	二階居室				
	一階居室				
外壁	真壁				
	大壁				
床下	外気に面する部分				
	その他の部分		AUF	30	
土間床外周部	外気に面する部分				
	その他の部分				

上表の材料種類は、下記の略記号による。
・吹込GW＝吹込み用ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　・住宅GW＝住宅用ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　・ＡＰＳ＝Ａ種ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板
・住宅RW＝住宅用ﾛｯｸｳｰﾙ　・高能GW＝高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　・ＡＰＥ＝Ａ種ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板
・吹込RW＝吹込み用ﾛｯｸｳｰﾙ　・ＡＯＰＳ＝Ａ種押出し法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板
・吹込ＳＦ＝吹込み用ｾﾙﾛｰｽﾌｧｲﾊﾞｰ　・ＡＦＦ＝Ａ種ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温板
⊙AUF＝Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板　・吹付ＵＦ＝建築物断熱材吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板
・ＢＵＦ＝Ｂ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板　・ＡＢＰＳ＝Ａ種ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板

5. 防湿材　・住宅用ﾌﾗﾀｽﾁｯｸﾌｨﾙﾑ　・包装用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ　・農業用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ (住 7.1.3)

◉ その他

番号	項目	特記事項
1.		

◎建築工事提出書類一覧表　工事完成時には、下記の指定された書類等を提出する。

項目	提出書類	備考
⊙一般共通事項	⊙ 工事現場安全衛生責任者一覧表 (工事現場安全衛生に関する社内体制) (災害発生時の処理・連絡方法) ⊙ 工程表(実施工程・月間工程) ⊙ 施工計画書(各工種別) ⊙ 施工図、原寸図 ⊙ 工事経過報告書 ⊙ 竣工図（配置図、平面図、仕上表他） ⊙ 工事写真 ⊙ 工事日誌 ⊙ 工事打合せ記録簿 ⊙ 完成写真 ⊙ 主要使用資材メーカーリスト ⊙ 下請業者リスト ・ 作業員名簿(各工種別) ⊙ 主要資材搬入調書 納品書 ⊙ 竣工書類(竣工届、請求書) ⊙ 見本、カタログ、引渡し品 (鍵リスト表、平面図記載) ⊙ 保証書	現場事務所掲示 設備工事も併記する 着手前に監督員に提出 仕上表には使用メーカー名記入 鉄筋はカラーとする 職種別出入人員累計とも 特記による 現場事務所掲示 機器、防水工事他
・土・地業工事	・ 資材搬入調書(写し) ・ 重機、機械器具仕様 ・ 試験杭記録(1m毎の貫入量) ・ 〃 (最終支持力) ・ 本杭最終支持力記録 ・ 杭打工事報告書 ・ 杭打工事資格証明書	・杭　・砕石類　・土間シート ・クレーン　・溶接
・鉄筋工事	・ 資材搬入調書(出荷証明書) ・ ＪＩＳ規格証明書(製番ラベル) ・ 鉄筋ガス圧接工技量資格証明書 ・ 鉄筋ガス圧接部引張り試験成績表 ・ 鉄筋材料試験成績表(引張り、曲げ)	使用したものに印
・コンクリート工事	・ レディーミクストコンクリート配合報告書 ・ 〃 配合計算書 ・ 骨材試験成績表 ・ セメント試験成績表 ・ 混和剤品質試験成績表 ・ 試験練り結果報告書 ・ まだ固まらないコンクリートの試験結果表 ・ コンクリートの圧縮試験成績表 ・ ポンプの機種、仕様 ・ 資材搬入調書	JIS-A5308
・鉄骨工事	・ 資材搬入調書(出荷証明書) ・ ＪＩＳ規格証明書(製番ラベル) ・ 溶接工技量資格証明書 ・ 溶接部非破壊試験結果表 ・ 高力ボルト試験成績表 ・ 高力ボルト現場締付成績結果表 ・ 鉄骨製作、開先関係写真 ・ 建て入れ検査記録 ・ 原寸検査記録社内の鉄骨工事施工要領書 ・ 鉄骨建方主任者名簿 ・ 建方重機の機種、仕様	・鋼材　・高力ボルト　・塗料 ・鋼材　・高力ボルト　・塗料
・ブロック、ＡＬＣ ＰＣパネル工事	・ 資材搬入調書(出荷証明書) ・ ＪＩＳ規格表示許可書(写し) ・ ブロック、パネル類試験成績表	
・防水工事	・ 資材搬入調書(出荷証明書) ・ 各資材試験成績表 ・ 防水工事保証書	各資材ごと 特記による
・石、タイル工事	・ 資材搬入調書	
⊙木工事	・ 資材搬入調書(出荷証明書) ⊙ ＪＡＳ規格表示許可書(写し) ・ ＪＩＳによる防虫処理証明書 ・ 代用樹種使用承諾書	 南方広葉樹仕様の時
・屋根および樋工事	・ 資材搬入調書(出荷証明書) ・ ＪＩＳ規格証明書 ・ 各資材製品試験成績表 ・ 特殊屋根工事保証書	 ・鋼板　・瓦　・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ 特記による
・金属工事	・ 資材搬入証明書(出荷証明書) ・ ＪＩＳ規格証明書 ・ 〃 天井下地	・一般鋼板　・特殊鋼板　・鋼管 ・ステンレス　・アルミニウム ・軽量鉄骨壁下地
・左官工事	・ 資材搬入証明書(出荷証明書) ・ ＪＩＳ規格表示許可書 ・ 砂出荷証明書	・セメント　・混和剤 ・下地処理剤　・吹付材料
・アルミ製建具工事 その他製建具工事	・ 資材搬入証明書(出荷証明書) ・ 社内検査合格書 ・ 木製建具使用材料使用承諾書 ・ フラッシュ戸の内部骨組み写真	
⊙ガラス工事	⊙ 資材搬入調書(出荷証明書) ・ シール、ガスケットの性能表	
・塗装、吹付工事	・ 資材搬入調書(出荷証明書) ・ ＪＩＳ規格表示許可書(写し) ・ 各種塗料の組成表、性能表 ・ 技術者資格証明書	・吹付塗料　・各種塗料
⊙内装工事	⊙ 資材搬入調書(出荷証明書) ・ ＪＩＳ規格表示許可書(写し) ・ ＪＡＳ規格表示許可書(写し) ・ 防火壁装材料認定表示マーク(写し)	⊙石膏ボード　・吸音板　・Ｐタイル ⊙ＣＦシート　⊙カーペット ・木毛板・断熱材・木質材料　・合板類
・外壁工事	・ 資材搬入調書(出荷証明書) ・ シール、ガスケットの性能表	
⊙雑工事	⊙ 資材搬入調書(出荷証明書)	・ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱｰ　・ブラインド ・スライディングﾄﾞｱ　・アコーディオン
・街渠、排水工事	・ 資材搬入調書(出荷証明書) ・ ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品JIS規格表示許可書(写し) ・ 製品試験成績表	
・舗装工事	・ アスファルト調合表 ・ アスファルト混合物抽出試験結果表 ・ 路床の支持力試験結果表 ・ アスファルト切取りコア	

３．工事区分表　（◎ 印のついたものを適用する）

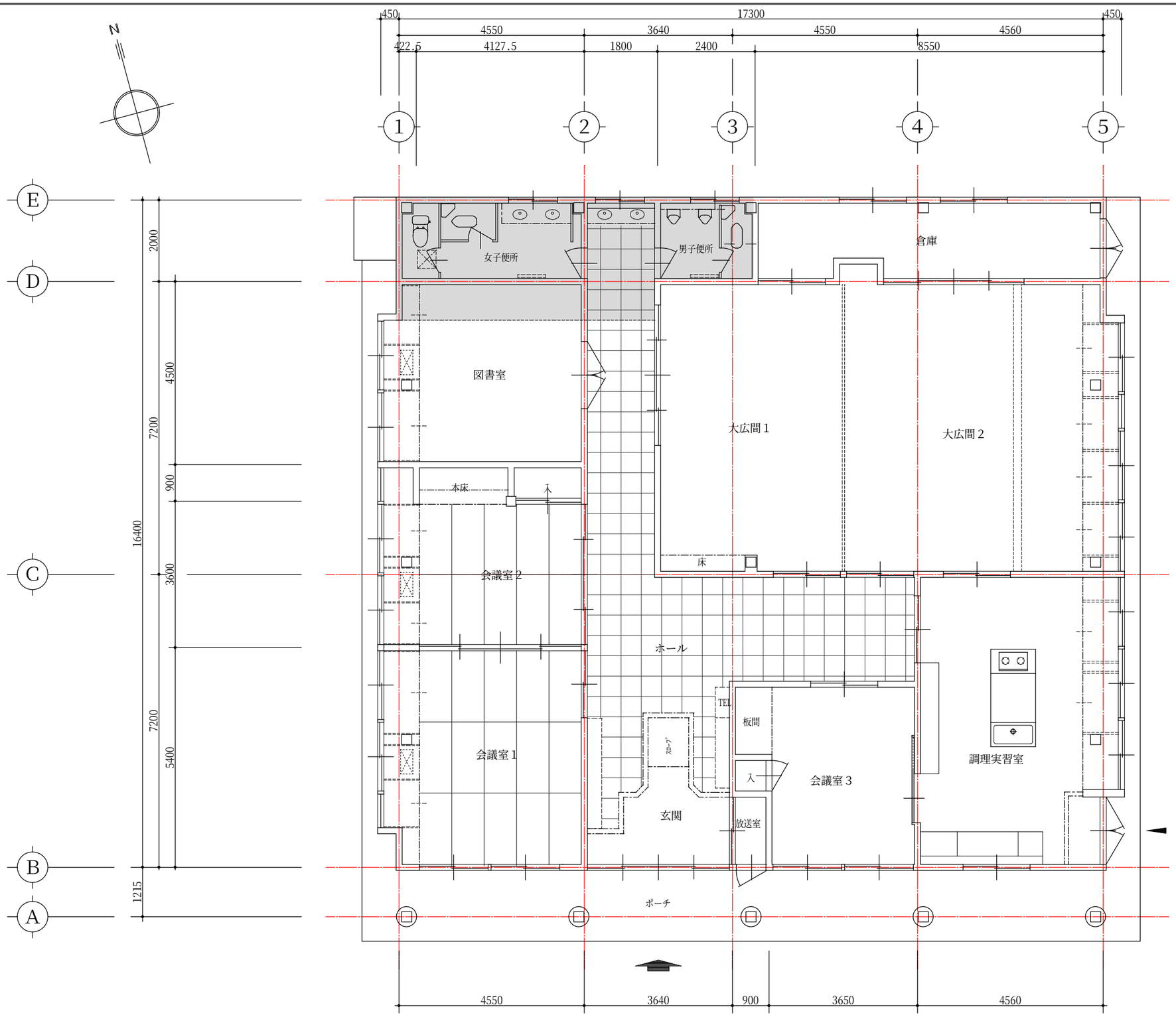
項目名称	建築	電気	設備		別途	備考
(1) 仮設用電力、上下水道、電話、ガス等の加入負担金						
(2) 前項に懸る工事費、使用料金その他の経費						
(3) 受電後引渡しまでの電力料金						
(4) 構造躯体の貫通スリーブ、枠の取付け		◎	◎			
(5) 前項に懸る補強工事		◎	◎			
(6) 天井、壁等の埋込器具の穴あけ・補強工事		◎	◎			
(7) 点検口（天井、床、壁、ピット）	◎					
(8) 屋上等に設置される設備・電気機器の基礎、仕上げ						
(9) 機器等の取付けに必要なアンカー及びその補強		◎	◎			
(10)						

辰野町役場　保健福祉課
〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地
TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307

Plot: 150830
D:¥ﾌｧｲﾙ-WINWORK¥1503070¥ｼｭﾝﾍﾟｲ介護予防ｾﾝﾀｰ平出定¥003特記3.jww
150812

Plot: 150830

D:¥ﾌｧｲﾙ¥ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ¥2015ﾌｫﾙﾀﾞｰ¥上平出介護予防センター平出介護011現況.jww



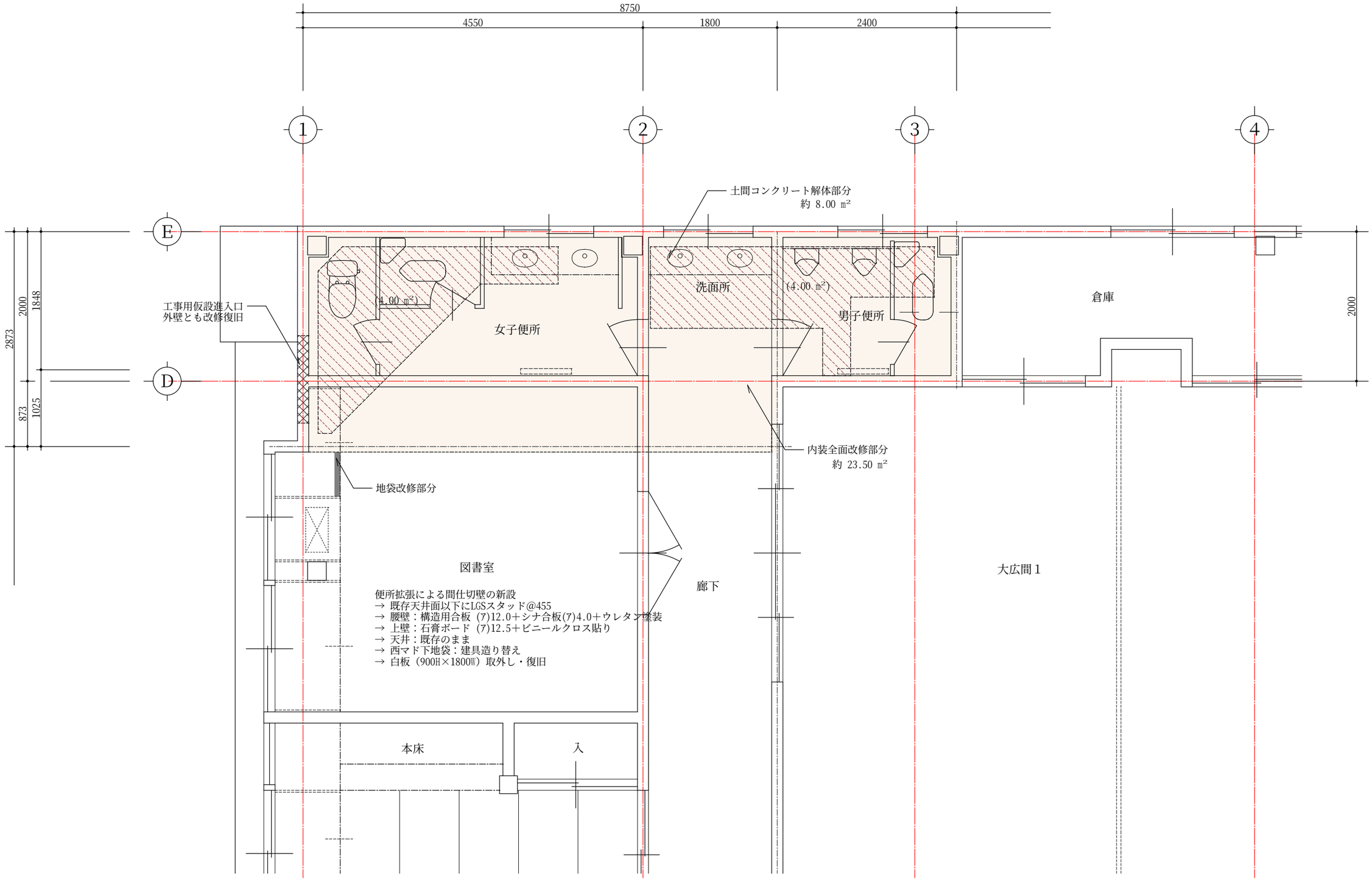
現 況 平 面 図　　S：1/100

改修部分

辰野町平出	上平出介護予防センター　改修工事	011	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課
1508			〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307

150812

Plot: 150830



D:¥ﾏｲ ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ¥TAKUMI¥2015¥上平出改修012解体.jww

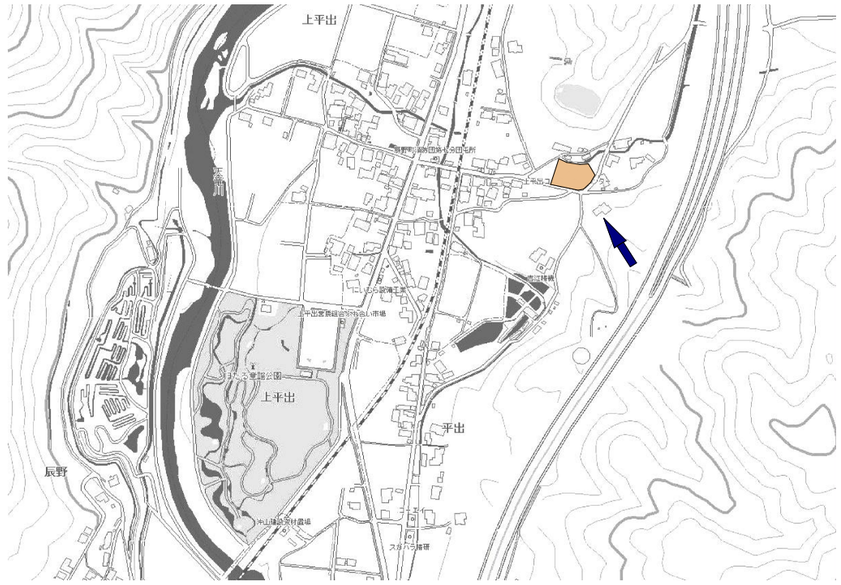
工事範囲概要図　S：1/50

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	115	辰野町役場　保健福祉課	
1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	

一級建築士登録（建設大臣）第82502号　事務所登録（上伊）G第04131号　有賀　勤＋アルタ⊿建築研究室

150408

Plot: 150830



案　内　図

建 設 地 ； 辰野町大字平出７４５番地５
用途地域：指定無し　　容積率／建蔽率： 100／60
防火地域：指定無し
その他地域：

建 築 主 ； 上伊那郡辰野町中央１番地　辰野町長　加島範久

面　積　表

	申請建物（公民館） 申請部分	既存部分	総　計
敷地面積 :			1153.41
建築面積 :	307.94	---	307.94
床面積 ２Ｆ :	---	---	---
１Ｆ :	283.72	---	283.72
延床面積 :	283.72	---	283.72

除却建物 : 無し　　除却面積 : ---

単位 : ㎡

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事 1508	101	辰野町役場　保健福祉課 〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307

D:¥三ﾂﾊﾞﾒ¥2013¥150131¥上平出改101配置.jww

150131

Plot: 150830

工事概要＋仕上表

階	室名	工事概要	床	巾木	壁	天井	備考
1	玄関	手摺を設置する	既存(磁器タイル)のまま	既存(ﾀｲﾙ・木)のまま	既存(タイル)のまま	既存（ボード＋クロス）のまま	手摺の新設
1	ホール	玄関・ホール壁に手摺を設置する 間仕切の変更による壁の改装（補修） 洗面所の改装による床の補修 電気設備の改修（換気扇新設）	既存（タイルカーペット）のまま	既存(木)のまま	既存（ボード＋クロス）のまま	既存（ボード＋クロス）のまま	手摺の新設 移動式木製スロープ新設
1	洗面所 廊下	間仕切の変更による改装 天井の改修は、旧図書室部分のみ 設備工事の全面改修 電気設備の改修（一部既存再使用）	タイルカーペット敷き	木　ＯＳＶ	耐水石膏ボード（7)12.5下地張り ビニールクロス貼り 洗面器北腰：構造用合板（7)12.0＋アスベール貼り	既存ＬＳＧ天井下地再使用・調整 石膏ボード（7)9.5＋ビニールクロス貼り Ｆ見切取付け 洗面所部分は、既存(舟底）のまま	設備工事、電気工事 手摺の新設（取付け下地補強）
1	男子便所	間仕切の変更による改装 床・壁の撤去、天井仕上げ材の撤去 衛生設備の全面撤去	一部土間コン新規、金コテ押え ＣＦシート（7)2.3 貼り	木　ＯＳＶ	捨て張り構造用合板（7)12.0（全面）＋ 耐水石膏ボード（7)12.5下地張り ビニールクロス貼り （外壁面下地とも新設）	既存ＬＳＧ天井下地再使用・調整 Ｍバー追加・補修 化粧石膏ボード（7)9.5 張り Ｆ見切取付け	トイレブース、ライニング、設備工事・電気工事 床見切（SUS折曲げ板又はアルミ押出し型材） 室名板（既存再使用）
1	女子便所	外壁一部撤去・復旧とアルミサッシュ新設 内装材の全面改装をする 衛生設備の改修（一部既存再使用） 電気設備の改修（一部既存再使用）			ＳＫ西・洗面器北腰： 構造用合板（7)12.0＋セラール貼り	天井裏断熱材敷込み（7)100（既存材再使用）	トイレブース、ライニング、設備工事・電気工事 掃除具入れ 床見切（SUS折曲げ板又はアルミ押出し型材） 室名板（既存再使用）
1	特殊便所						ライニング、設備工事・電気工事 室名板（新規） 天井点検口移設（ｱﾙﾐ枠：450×450）
1	掃除具入れ						物品棚新設（建具工事） 用具掛け用SUSパイプ（Φ25、２段）
1	図書室	間仕切の変更による改装 地袋建具の改修 電気設備の改修	タイルカーペット敷き（既存再使用）	木	新設間仕切壁のみ 腰：構造用合板（7)12.0＋シナ合板(7)4.0（目透かし） 上壁：石膏ボード（7)12.5＋ビニールクロス貼り	既存（ボード＋クロス）のまま 新設間仕切当り　見切縁取付	地袋建具取替え（木枠新設） 白板・ピクチャーレール仮撤去のうえ再取付
1	会議室	既存建具のクロス・フスマ紙の張替え・調整	既存(畳)のまま	既存(木)のまま	既存（ボード＋クロス）のまま	既存（ボード＋クロス）のまま	

既存の状況・工事内容							
	洗面所 廊下	間仕切・開口部の変更 電気設備の移設（再使用）	土間コンクリート＋モルタル タイルカーペット敷き	木	上壁：石膏ボード（7)12.5＋ビニールクロス貼り 腰：構造用合板（7)12.0＋シナ合板(7)4.0（目透かし）	石膏ボード（7)9.0下地（舟底型） ビニールクロス貼り	女子便所への通路を新設
	便所	全面改修 （間仕切・天井ＬＳＧ下地残存）	土間コンクリート＋モルタル 塩ビシート貼り	木	上壁：石膏ボード（7)12.5＋ビニールクロス貼り 腰：構造用合板（7)12.0＋シナ合板(7)4.0（目透かし）	石膏ボード（7)9.5張り	工事用仮進入口の設置工事（外壁改修有り） ＡＷ残存・木枠改修
	図書室	間仕切・建具（地袋）の変更 電気設備（照明器具・ｺﾝｾﾝﾄ）の改修（再使用）	土間コンクリート＋モルタル タイルカーペット敷き	木	上壁：石膏ボード（7)12.5＋ビニールクロス貼り 腰：構造用合板（7)12.0＋シナ合板(7)4.0（目透かし）	石膏ボード（7)9.0下地 ビニールクロス貼り	
	玄関 ホール	手摺の新設 天井換気扇の新設	土間コンクリート＋モルタル 磁器タイル、タイルカーペット敷き	木	上壁：石膏ボード（7)12.5＋ビニールクロス貼り 腰：構造用合板（7)12.0＋シナ合板(7)4.0（目透かし）	石膏ボード（7)9.0下地（舟底型） ビニールクロス貼り	

※ 内装材には、防火認定シールを貼付すること。

使用材料

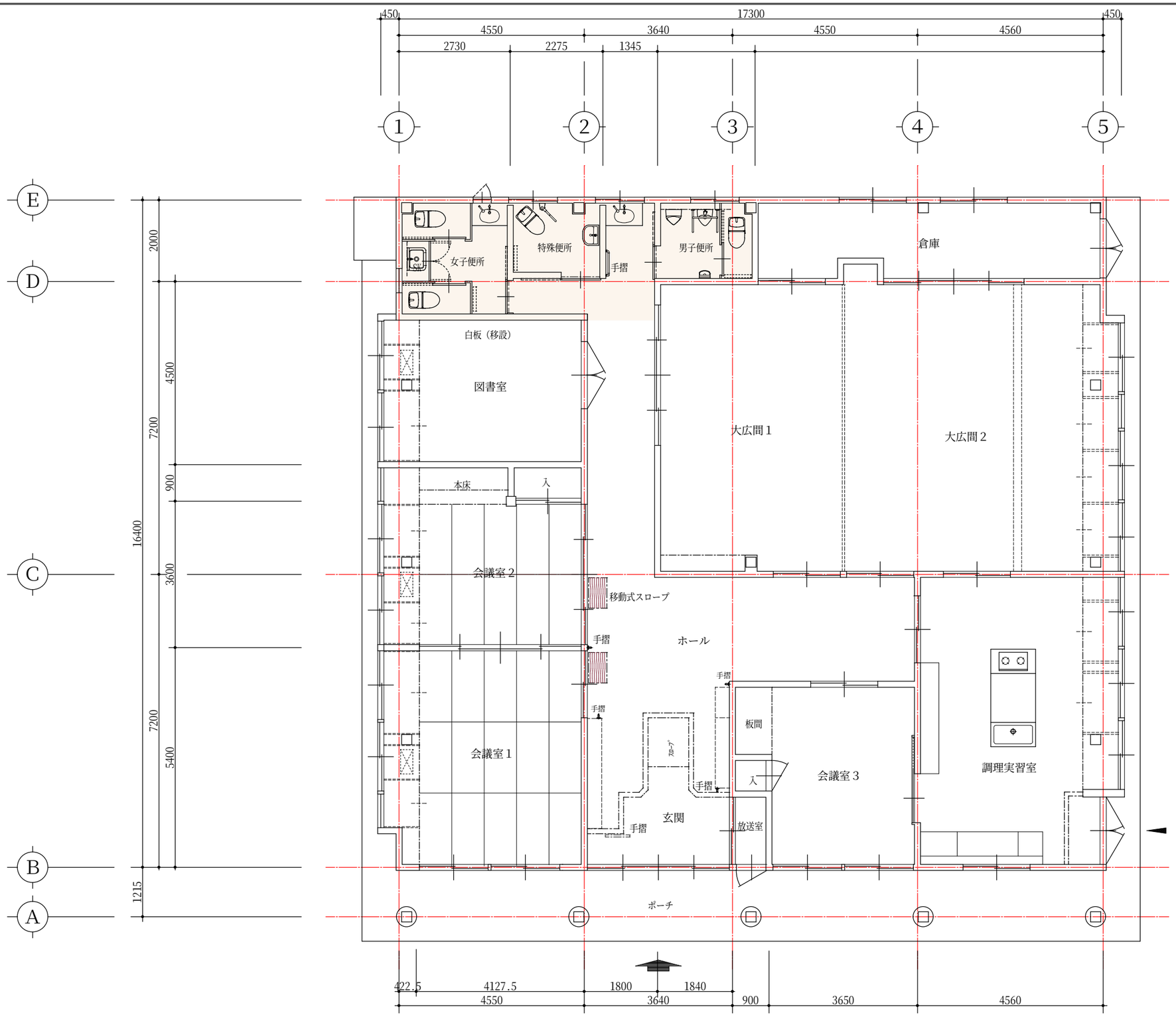
・石膏ボード	(7) 9.5 ：	吉野石膏	タイガーボード	準不燃 QM-9828 号
・防水石膏ボード	(7)12.5 ：	〃	タイガー防水ボード	準不燃 QM-9826 号
・化粧石膏ボード	(7) 9.5 ：	〃	ジプトーン・マーブルトーン	準不燃 QM-0524 号
・珪酸カルシウム板	(7) 5.0 ：	スレート協会		不燃 NM-8578 号
・メラミン不燃化粧板	(7) 3.0 ：	アイカ工業	セラール	不燃 NM-2183 号
・クロス・ビニールクロス	：	サンゲツ	Ａ・ＡＡ級	QM級防火認定品以上
・タイルカーペット	(7) 5.0 ：	〃	ＮＴ－４００	QM級防火認定品以上
・ＣＦシート	(7) 2.3 ：	〃	クッションフロアー	重歩行・各種施設用

特記事項

・シックハウス対策　1. 本工事に使用する建材は、全て Ｆ☆☆☆☆ の認定品を用いる。
2. 天井裏等へのガス放散措置は、下地材を含め Ｆ☆☆☆ 以上の認定品を用いる。
3. 資材の搬入に際し、写真記録または出荷証明書を保管する。
4.

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事 1508	102	辰野町役場　保健福祉課 〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	

D:¥JW-WIN¥WIN70203¥15¥上平出介護予防¥102仕上.jww
150821



手摺（ｲﾝﾃﾘｱﾊﾞｰ）設置工事（設備工事）

玄関土間：	シコク	SJ-STS08	1	組
ホール壁：	TOTO	EWT3AG6Z	4	組
廊下洗面所：	TOTO	EWT3BG66Z	1	組

改 修 平 面 図　　S：1/100

改修部分

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事

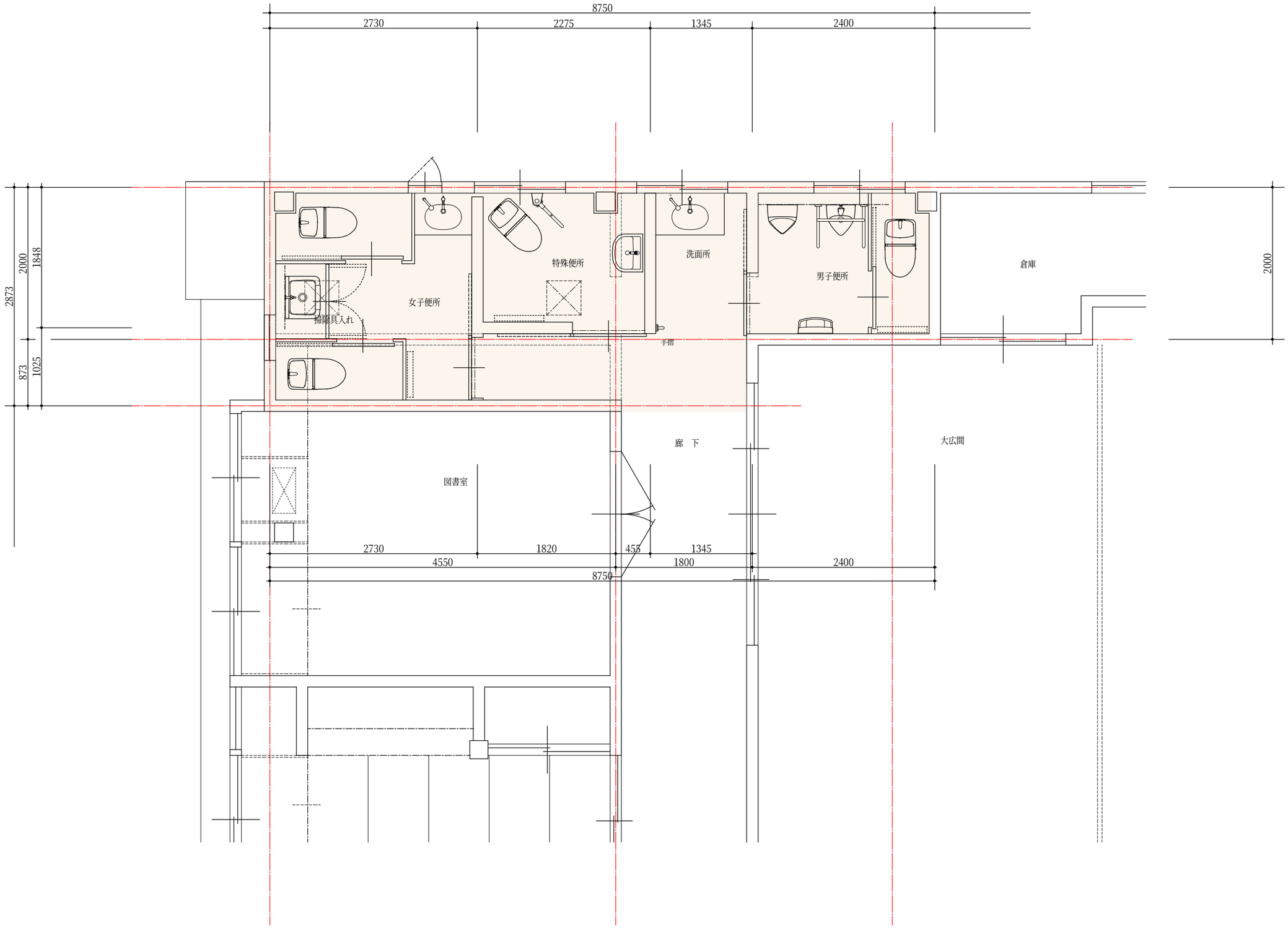
1508

103

辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課
〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地
TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307

Plot: 150830
D:¥用ﾃﾞｰﾀ¥NW170103¥上平出2K03平面.jww
150408

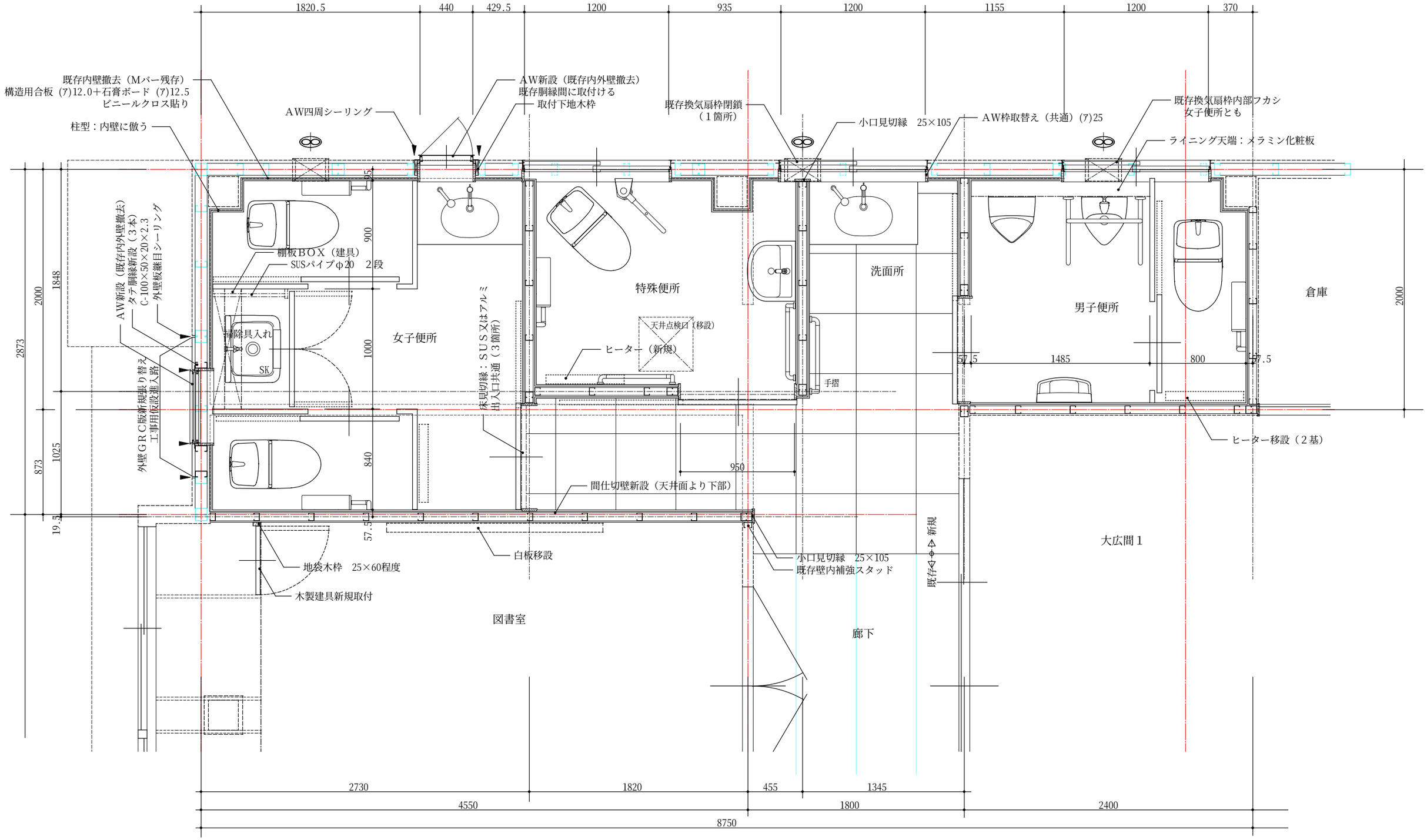
Plot: 150830



D:¥JW-WIN¥JWIN7030¥15¥上平出改¥104平面5.jww

改 修 平 面 図　　S：1/50	□ 改修部分	辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	104	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課
		1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307

150413



改修平面図　S：1/30

※ 既存部分は、点線で表示（建具を除く）

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	105	辰野町役場　保健福祉課	
1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	

Plot: 150830

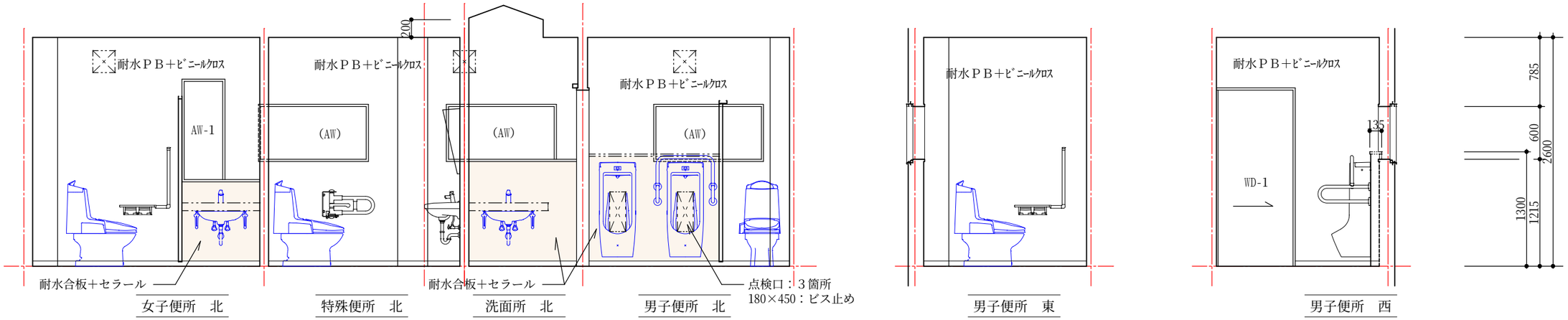
D:¥JW-WIN¥WIN7030¥15¥上平出改¥105平面3.jww

150413

Plot: 150830

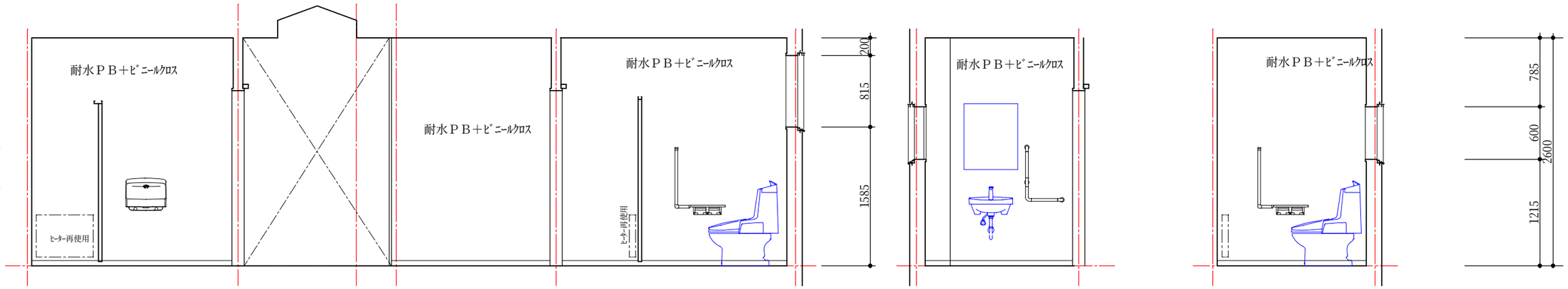
D:¥JW-WIN¥JWIN7203¥715¥上平出介¥111展開1.jww

便　所

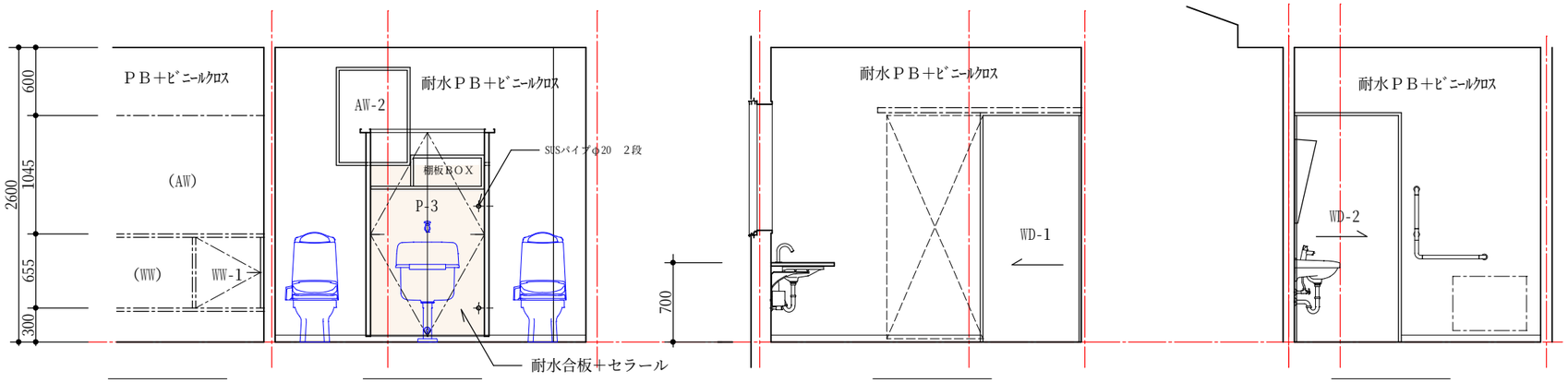


女子便所　北　　特殊便所　北　　洗面所　北　　男子便所　北　　男子便所　東　　男子便所　西

便　所



男子便所　南　　廊　下　南　　女子便所　南　　特殊便所　東　　特殊便所　西

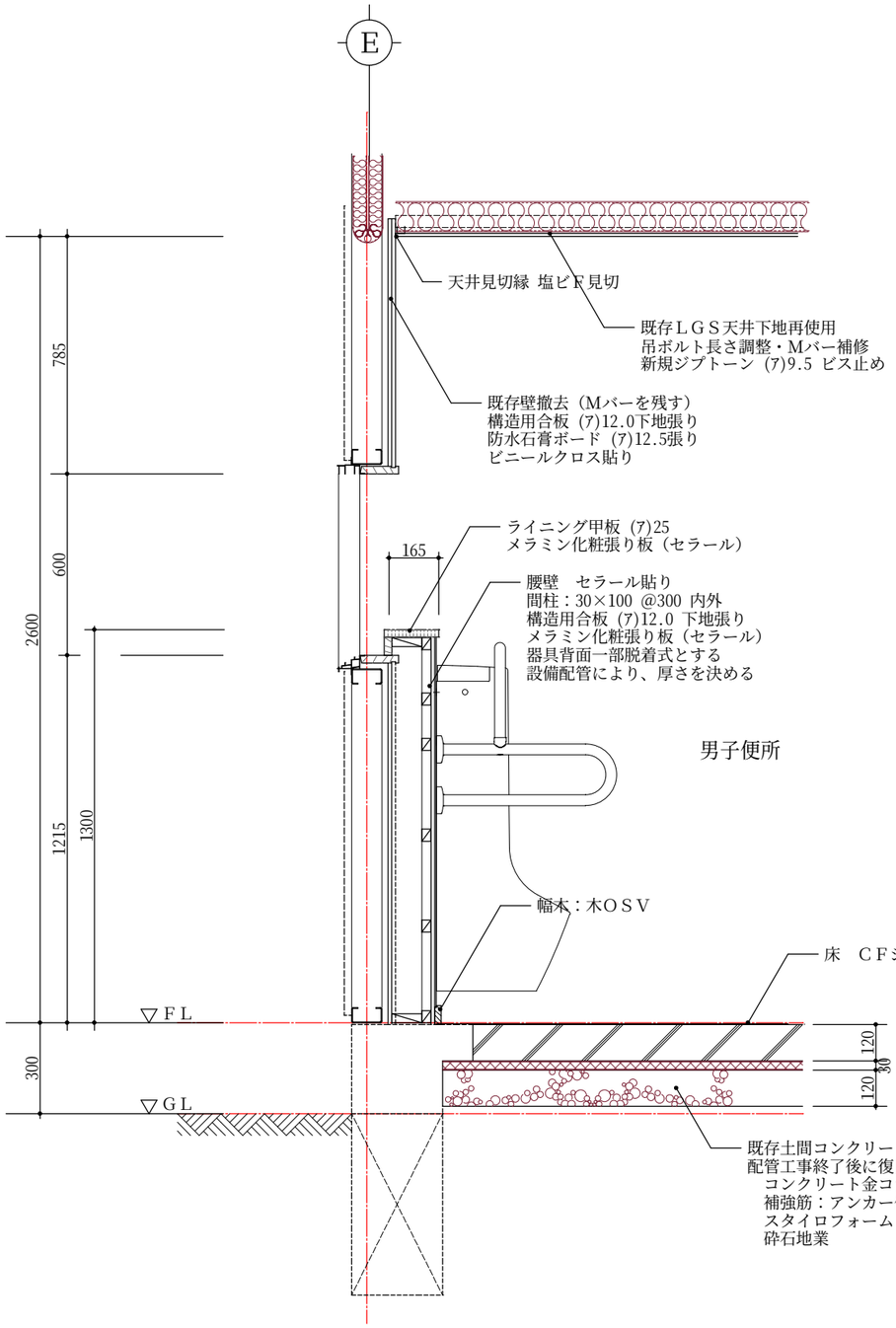


図書室　西　　女子便所　西　　女子便所　東　　特殊便所　南

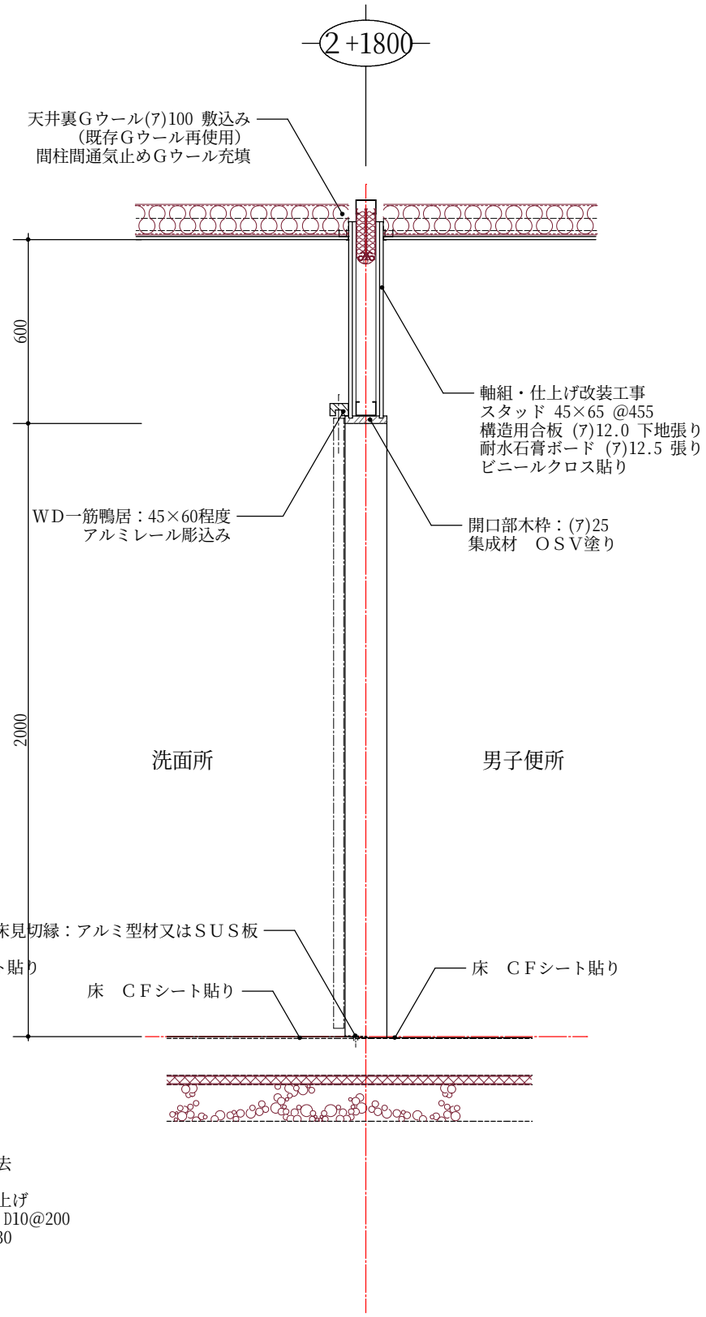
辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	111	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課	
1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	

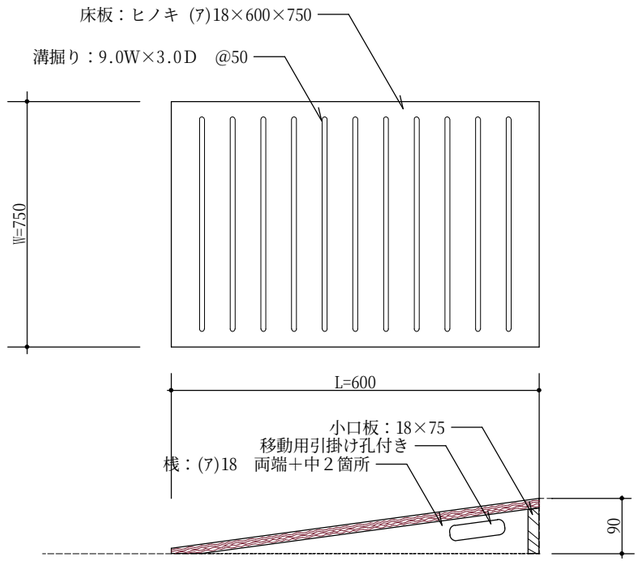
150812

Plot: 150830

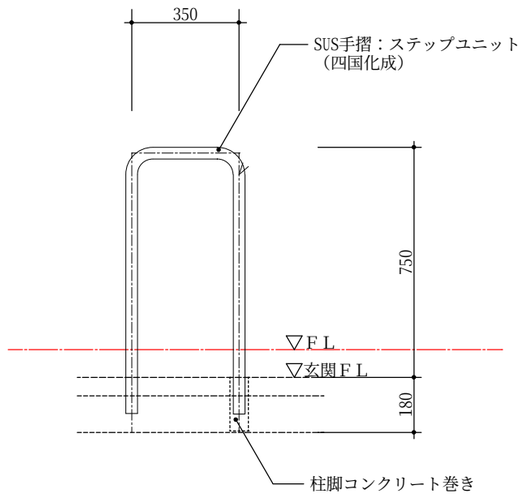


断 面 詳 細 図　　S：1/20





移動式ｽﾛｰﾌﾟ詳細図　　S：1/10



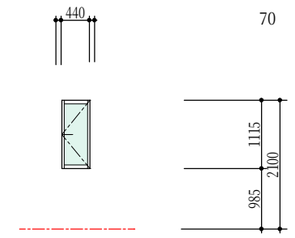
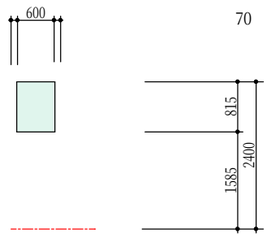
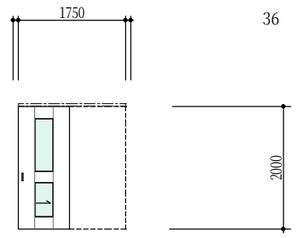
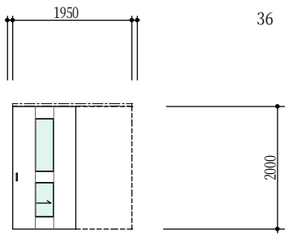
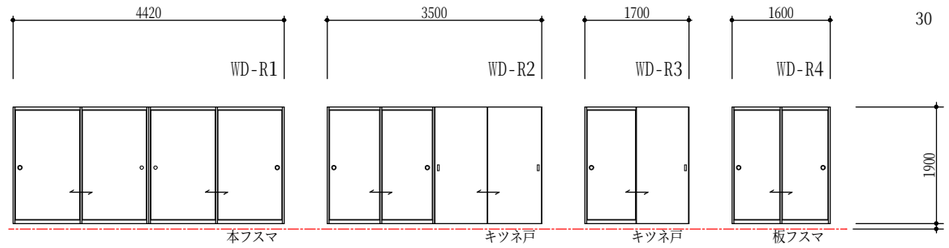
玄関手摺詳細図　　S：1/20

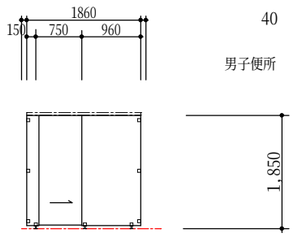
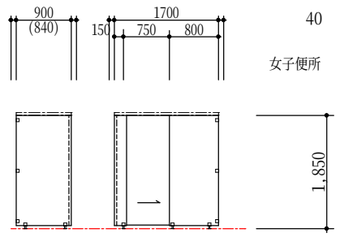
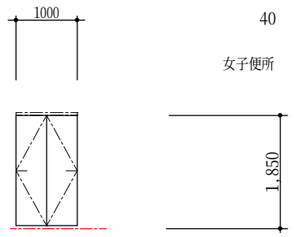
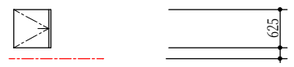
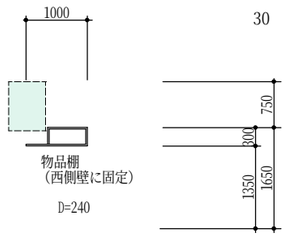
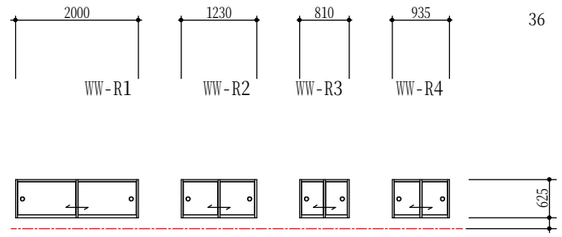
D:¥JW-WIN¥WIN7203¥15ﾌｫﾙﾀﾞ¥上平出改修112詳細.jww

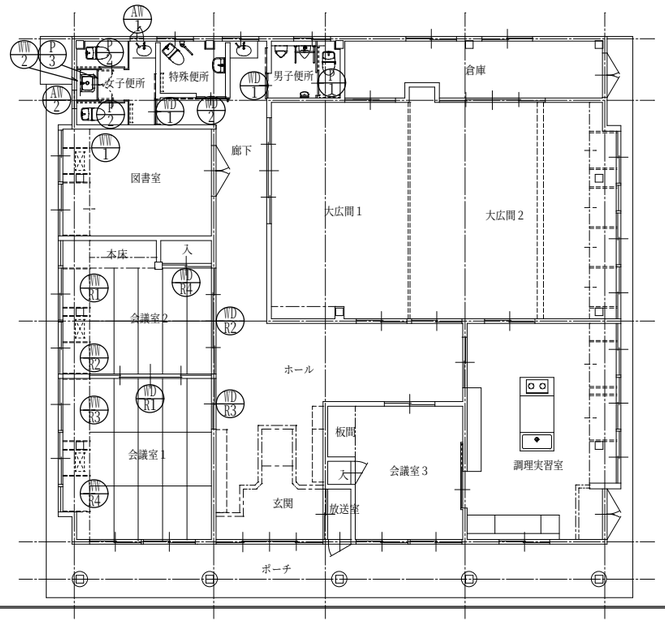
150820

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	112	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課	
1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	

建 具 表 ～ 1

記号 名称 箇所	AW 1 タテ辷り出しマド 女子便所 1	AW 2 はめ殺しマド 女子便所 1	WD 1 片引き額入りＦＤ 男女子便所 2	WD 2 片引き額入りＦＤ 特殊便所 1	WD R1 改修フスマ・キツネ戸 会議室 各1
見込	70	70	36	36	30
形状 (1／100) 寸法					
材種	アルミ（シャイングレー）	アルミ（シャイングレー）	ポリエステル合板、スプルスまたはホワイト	ポリエステル合板、スプルスまたはホワイト	鳥の子フスマ紙またはビニールクロス貼り替え、
ガラス	ペア（透明 3.0－A12－型板4.0）	ペア（透明 3.0－A12－型板4.0）	ポリカーボネート板 2.0㎜	ポリカーボネート板 2.0㎜	
金物	標準金物一式		アルミ吊レール、戸車、丸ガイド、引手(大)２ヶ	アルミ吊レール、戸車、丸ガイド、引手(大)２ヶ	
備考					立付け、戸車の調整をする

記号 名称 箇所	P 1 トイレブース（片引き戸） 1	P 2 袖付トイレブース（片引き戸） 2	P 3 トイレブース（両開き戸） 1	WW 1 片開きＦＤ 図書室 1	WW 2 物品棚 女子便所 1	WW R1 改修板フスマ（地袋） 会議室 各1
見込	40 男子便所	40 女子便所	40 女子便所	30	30	36
形状 (1／100) 寸法			 壁当りに方立を取付る			
材種	ポリエステル化粧合板、スプルスまたはホワイト、アルミ(エッジ・笠木)			ポリエステル合板、スプルスまたはホワイト	ポリエステル合板、スプルスまたはホワイト	鳥の子フスマ紙貼り替え、
ガラス						
金物	笠木、アルミ吊戸レール、戸車、ガイドローラー、表示付きラッチ錠、引手、小口塩ビカバー、パネル固定金具（ＳＵＳ）			丁番、取手、ラッチ		
備考	Ｐ－３：丁番、取手、ラッチ、フランス落とし 手摺を取付ける位置の下地補強をすること。			壁当りに方立を取付る		立付けの調整をする



アルミ・鋼製建具工事

1．表示寸法は、枠内法距離または開口寸法の概略を示す。（メーカー・納りにより多少の差異がある。）
2．断熱仕様製品の規格は、トステム：デュオＰＧ程度の断熱仕様型とする。
3．既製の規格寸法に依らない建具は、原寸図を作製し係員の承認を受ける。
4．半外付型を用い、下端土間埋込み以外は、下地にステンレスビス・スクリュー釘にて固定する。
5．上記取付終了後、４周の外側に防水テープ（ブチルゴム）を張り付ける。
6．外壁材との取合いにより、外周枠の突出が不足する場合は、二重枠・水切を取付ける。

木製建具工事　特 記 仕 様 書

1．表示寸法は、取付開口部の内法間距離の概略を示す。（納り、木材の形状により変動がある。）
2．化粧合板、金物、クロス、フスマ紙、ガラスなどについては、見本品を提示し、係員の承認を受ける。
3．フラッシュ戸の竪小口には、化粧縁を取付ける。
4．開き戸の柱・枠当りには三方に戸当りを取付ける。（ステンレスビスまたはスクリュー釘使用のこと。）
5．アルミ彫込みレールは、シルバー色とし、平型またはＶ型とする。
6．額入フラッシュ戸のガラスの取付に当っては、敷きパテを施すことする。
7．ガラス押えの額縁・押縁は木製とし、ステンレス皿ビス（＋字型）を用いて固定する。
8．塗装に先立ち、同質材にて試し塗りを行い、係員の承認を受ける。
9．ポリカーボネート板・ツインカーボは、旭硝子（株）製品の同等品以上とする。

建具キープラン　　Ｓ：1/200

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事　121

1508

辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課
〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地
TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307

Plot: 150830
D:¥ﾌｪﾙﾄｰﾎﾟﾙ¥WIN¥WIN7¥03DT15¥上平出改¥121建具.jww
150812

Plot:150830

工 事 概 要

1. 工 事 名 ： 上平出介護予防センター　改修工事
2. 建 設 地 ： 上伊那郡辰野町大字平出７４５番地５　　上平出コミュニティーセンター
3. 発 注 者 ： 上伊那郡辰野町中央１　　辰野町長　加島範久
4. 工　　期 ： 平成　　年　　月　　日から　平成　　年　　月　　日まで　　日間
5. 建物概要 ：

建 物 名 称	構 造	階 数	延床面積（㎡）	備　　考
上平出介護予防センター	S 造	1 階	283.72	平成７年３月新築

6. 工事種目 ：　　（◎ 印のついたものを適用する）

種 目 名 称	今回工事	種 目 名 称	今回工事	種 目 名 称	今回工事
空気調和設備		給 水 設 備	◎	給 油 設 備	
冷 暖 房 設 備		排 水 設 備	◎	エアー配管設備	
暖 房 設 備		雨水排水設備		消 火 設 備	
換 気 設 備		給 湯 設 備		昇 降 機 設 備	
排 煙 設 備		厨房機器設備		既存設備撤去工事	◎
自動制御設備		ガ ス 設 備			
衛生器具設備	◎	浄 化 槽 設 備			

機械設備工事特記仕様書

1. 本工事に適用する本仕様書は一般共通事項に記載されたものとする。
2. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて一般共通事項覧記載の各仕様図書による。
3. 特記仕様書の適用は下記による。
   (1) 事項、対象工事は、文頭に ● 印のついたものを適用する。
   (2) 項目は、番号に ○ 印のついたものを適用する。
   (3) 細目は、文頭に ● 印または ○ 印のついたものを適用する。

1 一般共通事項

番号	項 目	細 目 ・ 特 記 事 項
①	設計図書に関する疑義	⊙工事契約前においては質疑応答書をもって確認する。 ⊙工事途中においては、打合協議記録簿を作成して確認する。
②	図書の優先順位	⊙本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。 1.現場説明書（質疑応答書を含む） 2.特記仕様書 3.設計図・内訳明細書 4.公共建築工事標準仕様書　（平成　最新　年度版）　国土交通省大臣官房庁営繕部監修 5.同 上　機械設備工事編　（平成　最新　年度版）　国土交通省大臣官房庁営繕部監修 6.同 上　電気設備工事編　（平成　最新　年度版）　国土交通省大臣官房庁営繕部監修 7.長野県機械設備工事施工手引　（平成　最新　年度版）　長野県建設部施設課 8.長野県電気設備工事施工手引　（平成　最新　年度版）　長野県建設部施設課 9.木造住宅標準仕様書　（平成　最新　年度版）　住宅金融支援機構監修 10.標準詳細図　国土交通省大臣官房庁営繕部監修
③	施 工 範 囲	⊙本工事の範囲は特記仕様書及び設計図面に記載されている事項とする。
④	施 工 責 任	⊙本仕様書は仕様の大要を示すもので図面と対照して機能上、外観上、使用上、また保守管理において当然必要と認められる工事はもちろん、記載のない事項でも自然付帯の工事は、係員の指示に従い施工する。
⑤	実施工程表及び施工計画書	⊙実施工程表及び施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。
⑥	火 災 保 険 等	⊙建物（施設）引渡しまで請負者は、工事目的物・工事資材等について火災保険・建設工事保険等をかけねばならない。　また、その満了日は引渡日に１ヶ月を加えた期間とする。
⑦	法 規 手 続	⊙本工事は各市町村上水道条例、高圧ガス取締法、液化ガス保安規則、その他関連法令に従い施工する。また、工事に必要な関係官庁への手続き一切は請負者が代行して行う。 関係官庁への手続き一切は請負者にて行う。
⑧	使 用 材 料	・材料及び機器は別に示す指定メーカーより選定し、工事契約後すみやかに仕様リストを提出する。なお機器のうち、事業者の指定があるものはその指示に従う。 同等品に替える場合は、見本品・性能表などを呈示し監督員の承諾を受ける。
⑨	施工図承認図	・工事施工前に施工詳細図を提出して係員の承認を受ける。機器については、構造・寸法及び仕様を記載した承認図を提出するか見本を提出し、係員の承認を受ける。
⑩	特殊な材料工法	・共通仕様書に記載されていない特殊な材料の工法は、当該製品の指定する工法による。
⑪	工事標識の掲示	下記の標識を、監督員の指示する位置に掲示する。 ・工事標識　　・建設業許可票の写し標識　　・労災保険関係成立票の写し ・工事施工体系図
⑫	工 事 用 用 水	構内既存の施設：⊙利用できる（・有償　⊙無償　）　・利用できない
⑬	工 事 用 電 力	構内既存の施設：⊙利用できる（・有償　⊙無償　）　・利用できない
⑭	工 事 用 足 場	・別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる ⊙本工事に含む（関連法令、要綱に従い適切な構造のものを架構し、保守点検に努める）
⑮	埋 戻 ・ 盛 土	⊙根切中の良質土（但し、埋設管の周囲は山砂、川砂または再生砂）山砂の類
⑯	残 土 処 分	・構内敷均し　　⊙構外搬出適切処理　・構内の指定箇所に積置き
⑰	発生残材の処理	⊙構外搬出適切処理 発注者に引渡しを要するもの　⊙無　・有（　　） 再生資源の利用を図るもの　⊙無　・有（　　） 特別管理産業廃棄物　⊙無　・有（　　）
⑱	保 温 工 事	配管、ダクト、弁類は建物内外とも保温工事を行い、外装は下記による。 なお、保温端部はシーリング処理をする。

区 分	施 工 箇 所		外 装 材 の 種 類
給水管 給湯管	屋内	居間・廊下など	・カラー亜鉛鍍金鉄板　・
	露出	機械室、書庫、倉庫	・アルミガラスクロス　・
	屋内隠ぺい		⊙アルミガラスクロス　・
	屋外露出、多湿箇所		・ステンレス鋼板 ⊙着色アスファルトプライマー
排水及び通気管	屋内	居間・廊下など	・カラー亜鉛鍍金鉄板　・
	露出	機械室、書庫、倉庫	・アルミガラスクロス　・
	屋内隠ぺい		⊙アルミガラスクロス　・
	屋外露出、多湿箇所		・ステンレス鋼板 ⊙着色アスファルトプライマー
雨水立管	屋内露出		・カラー亜鉛鍍金鉄板　・綿　布
冷媒管	屋内	居間・廊下など	・綿　布　・保温化粧ケース　・
	露出	機械室、書庫、倉庫	・アルミガラスクロス　・
	屋内隠ぺい		・アルミガラスクロス　・
	屋外露出、多湿箇所		・ステンレス鋼板　・保温化粧ケース
ダクト	屋内	居間・廊下など	・カラー亜鉛鍍金鉄板　・
	露出	機械室、書庫、倉庫	・アルミガラスクロス　・
	屋内隠ぺい		・アルミガラスクロス　・
	屋外露出、多湿箇所		・ステンレス鋼板　・

・冷媒用断熱被覆銅管の保温厚さは，ガス管は 20㎜ 以上，液管は 10㎜ 以上とする。
　但し，液管呼び径 9.52㎜ 以下は，保温厚 8.0㎜ としてもよい。

⑲ 防 凍 保 温 等　屋外露出部の給水管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレイン管、消火管、排水管及び弁類には、防凍保温等の対策を行う。
⊙保温材被覆　保温材の厚さ：管径 25㎜ 以下は 50㎜ 、管径 32㎜ 以上は 40㎜ とする。
⊙電熱ヒーター取付

19. 防 食 処 理　・土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。
埋設配管は原則として，防食処理不要の管材を使用する。

20. 地中埋設標及び埋設表示用テープ　・地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。
なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか、屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
1）給 水 管：・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ
2）ガ ス 管：・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ
3）油　　管：・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ
4）消 火 管：・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ

21. 別途工事等との取合い・協議　・別途契約の工事については、工事行程、納まりなどについて当該業者と密接に協議し、協議に当らなければならない。なお、配管・ダクト・機器据付けに伴うスリーブ、枠入れは本工事に含み、その他は「工事区分表」による。

22. 文 字 名 札 等　共通仕様書によるほか、バルブ類等は必要に応じて合成樹脂製名札をステンレス線を用いて取付る。

㉓ 取 扱 説 明 板　機器等の取扱い方法及び重要な定期点検項目等を記した取扱説明板（アクリル樹脂板製・文字彫込み程度）を設ける。　大きさ：約 ＿＿＿cm²

㉔ 総 合 調 整　・本工事 （・風量調整　・水量調整　・室内空気の温度測定　・室内気流及びじんあい測定
　・騒音測定　・初期運転状態の記録 ）　・別 途

25. 定 期 報 告　工事竣工後３ヶ月、12ヶ月に点検を実施し、その結果を書面にて提出する。
上記点検においては、管理者の立ち会いの元で行うこととする。

26. 耐 震 措 置　耐震措置の計算及び施工方法は，建設大臣官房官庁営繕部監修「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成８年版）」による。
1）設計用水平地震力　機器の重量［kgf］に設計用水平震度を乗じたものとする。
　なお，特記なき場合，設計用水平震度は，次による。（ 地域係数 = 1 ）

局部震度法による建築設備機器の設計用水平震度

設 置 場 所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上・塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中　間　階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
地階及び１階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

注１）（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。

2）設計用鉛直地震力　設計用水平地震力の 1/2 とし，水平地震力と同時に働くものとする。
3）施　　工　機器，水槽，配管，電線等の施工については，大地震時においてその機能を確保するため，地震力及びそれによる変位・揺れを考慮すること。
　施工方法等については，国土交通省国土技術政策総合研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針（2005年版）」による。
4）そ の 他　必要な機器及び支持材等の耐震計算書等を提出し，監督員の確認を得ること。

㉗ 床下の吊り金物　⊙合成樹脂被覆寸切りボルト　・ステンレス鋼
㉘ 天井の吊り金物　⊙電気亜鉛めっき鋼　・ステンレス鋼　・合成樹脂被覆寸切りボルト
㉙ 接 合 材　⊙防食用ペーストシール剤（ネジ切り接合部）・テープシール剤
30. ス リ ー ブ　スリーブに用いる材料で水密を要しない部分の壁，床版及び，梁貫通スリーブの径200Φ以下のものは監督員と協議のうえ紙製などの仮枠を使用することができるが、配管工事前に必ず撤去する。

31. 防火区画貫通部の処理方法　ドレン配管及びダクト類は，RW保温又は保温なしモルタル処理とし，その他の配管はRW保温とする。

㉜ 工事の引渡し　本工事の完成後は、圧力試験その他関係試験をするとともに関係官庁機関の試験に合格したのち引渡しとする。

㉝ 工事保証・その他　⊙建物竣工後 （ 2 ）年間
本工事においては、工事完成引渡し後でも工事の不完全及び納入機器や部品の欠陥に原因のある故障は１ヵ年保証し、無償で修理又は取替えを行う。
なお、いわゆる"瑕疵"によるものは、保証期間後においても誠意を持って対処すること。

㉞ 工事記録・完成図等　監督員の指示により、下記のものを提出する。
書類は、Ａ４版２穴バインダーファイルへ一括綴りとし、表題・背文字を記入する。
⊙施工計画、検査に関するもの：　（ 2 ）部
　⊙施工図データ　⊙工事写真、竣工写真　⊙工事日誌　⊙工事打合せ記録簿
　⊙配管、機器類の耐圧漏洩試験表　⊙監督員の指示したもの
⊙完成写真（改修工事の時は、着手前と完成写真を左右に入れたもの）：　（ 2 ）部
　撮影箇所：　・外 部（＿＿）箇所　　・内 部（＿＿）箇所
⊙工事写真：　⊙電子納品　・べた焼き　⊙サービス判　（ 2 ）部
⊙工事完成図：　（ 2 ）部
　⊙完成図ＣＡＤデータ（ＣＤ－Ｒ）・Ａ２版２ツ折り製本　⊙Ａ３縮小版２ツ折り製本
⊙保全に関するもの：　（ 2 ）部
　⊙機器取扱説明書　⊙性能試験成績表　⊙機器一覧表（製造所・型式記入）
　⊙官公庁届出書類　⊙工具、予備品　⊙工事関係資料等引渡書

2 特 記 事 項

◯ 空調設備工事
◯ 冷暖房設備工事
◉ 暖房設備工事

1. 設計温湿度　設計温度および湿度は、下表による。

	外気				屋内（調整目標値）			
	一般系統				一般系統			
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	℃	%	℃	%	２６℃	５０％	℃	%
冬季	℃	%	℃	%	２２℃	４０％	℃	%

2. ばい煙濃度計　取付箇所は図示による。
3. 煙　突　・別 途　・本工事（鋼板厚 ＿＿㎜、高さ ＿＿ m 以上 ）
4. 煙　道　・鋼 板（ ・3.2 ㎜　・4.5 ㎜ ）・ＳＵＳ板（・0.8 ㎜　・1.0 ㎜ ）・鋼 管
　・煙道径が 400㎜ を超えるものには，掃除口に蝶番を取り付ける
5. ダクトの区分　・低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト
6. 長方形ダクトの工法　・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法（ ・共 板　・スライド ）
　・スパイラルダクト　・
7. 風量測定口　取付場所： ・ 図示した位置　・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト・ 外気取入れダクト
　・風量調整ダンパーの上流又は下流・空調機のサプライチャンバーからの分岐ダクト
8. チャンバー　1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
　2）空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。
　3）外壁に面するガラリに取付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
9. 防煙ダンパー　定格入力 DC24V、0.5A 以下　・遠隔式　・
　復帰動作：　・順送り　・同 時
10. 配管材料
　・冷温水管　：・配管用炭素鋼鋼管（白）　・
　・冷却水管　：・配管用炭素鋼鋼管（白）　・
　・蒸気管（給気管）：・配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
　・蒸気管（環水管）：・圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40）・配管用炭素鋼鋼管（黒）
　・油管、油用通気管 ：・配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
　・膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管：・配管用炭素鋼鋼管（白）
　・空調用排水管　：・配管用炭素鋼鋼管（白）　・
　・冷媒管　：・断熱材被覆銅管（製造者標準品）　・銅　管
11. 温　度　計　配管用はＬ形、ダクト用は円形とし、下記の箇所に取付ける。
　・共通仕様書，標準図による他，図示した箇所
　・空気調和機，温風暖房機まわりの給気ダクト，還気ダクト及び外気ダクト
　・冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管
　・パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口
12. 瞬間流量計　ピート管方式による水止コック付きとし、形式及び取付部は下記による。
　なお、脱着形の指示部は（ ・４０Ａ用　個・１００Ａ用　個　・２５０Ａ用　個 ）
　・冷凍機の冷水管出口側及び冷却水管出口側 ---------- ・固定形　・脱着形
　・直焚き吸収冷温水管出口側及び冷却水管出口側 -------- ・固定形　・脱着形
　・冷温水ヘッダーの（　・各送り管 ・各返り管 ）------ ・固定形　・脱着形
　・空気調和機の冷温水管入口または出口側 ---------- ・固定形　・脱着形
13. オイルタンク　遠隔油用指示計：・取付ける　・取付けない
　・計量尺は，青銅製，黄銅製又はアルミ製とし，100ﾘｯﾄﾙ実測目盛刻印とする
　・計量口は錠付とする
14. 消音内貼り　内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。
　施工範囲：　・図示の範囲　・
15. 保　温　工　事　一般事項による保温工事の他に、下記の施工を行う。
　外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温：
　・必 要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・不 要
　・排気ダクトの外壁開放部より１m程度の範囲（チャンバーボックスを含む）
　・高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚：　４０　㎜
16. 空調用ボイラー　種　類：・鋳鉄製ボイラー　・水管式ボイラー　・炉筒煙管式ボイラー　・小型貫流ボイラー
　・真空式温水発生機（　　回路）・無圧式温水発生機（　　回路）・電気ボイラー
　発生熱媒：　・高圧蒸気＿＿＿kg/cm²　・低圧蒸気＿＿＿kg/cm²
　・高 温 水＿＿＿℃　・普通温水＿＿＿℃

辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課
〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地
TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307

D:¥ﾌｫﾙﾀﾞｰ1¥NEW¥ZN03DT15¥上平出改¥211設特1.jww
150812

Plot:150830

	燃焼機バーナー：・ロータリー　・ガンタイプ　・噴　霧　・ガスバーナー 燃焼機燃源：・重　油（　・特A　・A　・B　）・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ ・電　気（３相２００Ｖ） 水処理装置：・硬水軟化装置（イオン交換）・薬注装置　・純水装置 発生熱媒：・高圧蒸気＿＿＿kg/cm²　・低圧蒸気＿＿＿kg/cm² ・高 温 水＿＿＿℃　・普通温水＿＿＿℃ 燃焼機バーナー：・ロータリー　・ガンタイプ　・噴　霧　・ガスバーナー 燃焼機燃源：・重　油（　・特A　・A　・B　）・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ ・電　気（３相２００Ｖ） 水処理装置：・硬水軟化装置（イオン交換）・薬注装置　・純水装置
17.冷　凍　機　設　備	形　式：・ターボ型　・レシプロ型　・スクリュー型　・吸 収 式（　・一重　・二重　） ・冷温水発生機　・ヒートポンプ式 燃　源：・電　気（　　）・蒸　気（　　）・高温水　℃ ・重　油（　・特A　・A　・B　）・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ
18.温　風　暖　房　機	形　式：・送風機内蔵　・送風機別置　・直 吹 形　・ダクト式　・ 高 温 風　・普及型温風 燃　源：・A重油　・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ 運転方式：・手元運転　・遠方運転 制御盤：・遠方発停用端子　・運転状態表示用接点及び端子　・故障状態表示用接点及び端子
19.Ｆ　Ｆ　式　暖　房　機	燃　源：・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ 運転方式：・個別方式　・集中管理運転
20.パッケージ空調機	形　式：・床 置 型　・壁 掛 型　・天井吊下げ型　・天井埋込型 ・熱回収装置組込型 燃　源：・電　気（３相２００Ｖ）　・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ
㉑放　熱　器	形　式：・鋳鉄製ラジエーター　・コンベクター　・ファンコンベクター　・ベースボード ⊙パネルヒーター（⊙電気　・温水（・鋼板製　・鋳鉄製　・アルミ製）） ・ファンコイルユニット（　・２パイプ　・４パイプ）　・ユニットヒーター ・ヒートポンプユニット・遠赤外ヒーター（
22.床　暖　房	熱　媒：・冷 温 水　・冷　水　・温　水　・蒸　気　・電　気 形　式：・配管埋設型　・パネル組込型 燃　源：・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ　・電　気（単相２００Ｖ） 別途工事範囲：　・躯体組込工事　・保護コンクリート、モルタル打設工事
23.加　湿　器	形　式：・スプレー方式　・蒸発方式　・気化方式 ・蒸　気　・水　・温　水
24.フ　ィ　ル　タ　ー	形　式：・ユニット型　・巻取型（　・差圧　・タイマー　）・静電気型 ・活性炭型　・化学吸着型

○ 換　気　設　備　工　事

1.厨房用排気ダクト	材 種：・亜鉛鉄板　・ステンレス鋼版（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる） 工 法：・アングルフランジ工法　・コーナーボルト工法（・共 板　・スライド） ・スパイラルダクト　・
2.厨房用排気フード	材 種：・ステンレス鋼版（SUS304）　・亜鉛鉄板 その他：・フード周囲の天幕（フード面から天井面まで）　・フードコック
3.シ　ー　リ　ン　グ　工　事	下記の系統のダクトにはシーリング工事を行い、水抜き管を設ける。 ・厨房系統　・浴室系統　・

○ 排　煙　設　備　工　事

1.ダ　ク　ト　の　材　種	・亜鉛鉄板製　・鋼板製（1.6㎜以上）
2.排　煙　口　の　形　式	・可動羽根（スリット共）　・可動パネル
3.排　煙　口　解　放　装　置	・可動羽根（スリット共）　・可動パネル
4.排煙風量測定方式	建築設協定期検査業務指導書（(財)日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。

○ 自　動　制　御　設　備　工　事

1.中　央　監　視　制　御	中央監視制御装置の構成、機能は別紙による。
2.計　装　工　事　の　配　線	屋外・屋内露出の配線は，図面に特記のない限り金属管配線とする。

◉ 衛生器具設備工事

①大　便　器　洗　浄　弁	⊙不凍結節水弁付　・バキュームブレーカー　・低圧フラッシュバルブ
②便器洗浄用タンク	・手洗なし　⊙手 洗 付　・水抜装置付き
③小　便　器　節　水　装　置	⊙個別感知フラッシュバルブ方式（　・埋 込　⊙露 出　）・押ボタン式（不凍結節水弁付）
④小　便　器　洗　浄　管	⊙埋 込　・露 出
⑤付　属　水　栓	・節水こま式　⊙固定コマ式（　⊙寒冷地対応形　・　　）
⑥自　動　水　栓	電源供給方式：⊙ＡＣ100Ｖ　・ＤＣ
7.大便器耐火カバー	・設ける（ピット内を除く）　⊙設けない

◉ 給　水　設　備　工　事

①給　水　方　式	⊙直圧方式　・加圧方式・井戸揚水方式　・加圧タンク方式
②水　源	飲用水：⊙上水道　・井戸水　・簡易水道 雑用水：⊙上水道　・井戸水　・河　川　・中　水　・雨　水
3.量　水　器	・親メーター（・貸与品　・買取り　）・子メーター（・買取り　・支給品　）
4.量　水　器　桝	・上水道事業者指定品（・貸与品　・買取り　）・標準図ＭＣ型
5.弁　類	ＪＩＳ又はＪＶ　⊙水道直結部（⊙１０Ｋ・　）・その他の部分（・５Ｋ　・　）
6.引　込　納　付　金	・必 要（　・本工事に含む　・別途工事）　・不 要
⑦凍　結　防　止　処　置	⊙水抜栓以降の屋内配管には、電気ヒーターによる処置を行う。 ⊙室内露出部分については、室内に採暖装置がある以外は、ヒーターによる処置を行う。 ・屋外にあって、擁壁等の側面からの凍害の恐れのある場合は、土中に保温処置を行う。
⑧屋外配管埋設深さ	敷地内：・地表面－６００㎜　・地表面－８００㎜ 道路内：・地表面－１２００㎜
⑨配　管　の　品　質	屋　外：・水道用耐圧塩化ビニール管(HI-VP)　・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VB) ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-VD)　・ステンレス鋼管 屋　内：⊙水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VB)　⊙架橋ポリエチレン管 ⊙ポリブデン管（カバー付き）・ステンレス鋼管　・水道用鋼管
⑩屋　内　の　配　管	さや管ヘッダー方式：　⊙行う　・行わない
⑪防　食　措　置	外面樹脂ライニングの無い鋼管は、ペトロタム防食テープ　１／２　重ね１回巻きとし、さらに防食ビニルテープを１回巻きとする。
⑫吊　り　及　び　支　持	横走り配管の吊り及び揺れ止め支持間隔は、鋼管及びステンレス管は　2.0 m以下、ビニル管ポリエチレン管及び鋼管は　1.0m 以下、架橋ポリエチレン管は　0.5m 以下とする。

◉ 排　水　設　備　工　事

①配　管　の　品　質	屋　外：　⊙硬質ポリ塩化ビニル管(VP・VU) ・下水道用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RS-VU) 屋　内：　⊙硬質ポリ塩化ビニル管(VP)　・排水用耐火二層管 ・建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RF-VP)
②配　管　の　勾　配	屋内は、管径 80A 以下は 1/50 以上・100A 以上は 1/100 以上とし、屋外は 1/100 以上とする。
③汚　水　、雑　排　水　桝	材　料：⊙硬質塩化ビニル　・ポリプロピレン　・ＳＣ ふ　た：・鋳鉄製　・ＭＨＡ　・ＭＨＢ　・Ｔ８Ａ　⊙樹脂製 ・県マーク，流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付 ・車輌の通過する箇所、歩行が頻繁となる箇所の汚水桝には、ＰＣ製または鋼製の保護枡を設け地表面に突起を造らないようにする。
④汚　水　の　処　置	⊙公共下水道へ放流　（ 負担金：　・必　要（負担金別途）⊙不　要　　） ・合併浄化槽による　（ 放流先：　・河川、水路（許可申請）　・トレンチ　・　　）

○ 雨水排水設備工事

1.配　管　の　品　質	・硬質ポリ塩化ビニル管(VP・VU)　・硬質ポリエチレン管(ダイポリン)
2.配　管　の　勾　配	管径 80A 以下は 1/50 以上・100A 以上は 1/100 以上とする。
3.雨　水　桝	材　料：・ＲＣ（ＰＣ製）　・ＲＣ（現場打ち）　・硬質塩化ビニル　・充填化粧枠付き ふ　た：・ＲＣ（ＰＣ製）　・鋼製（グレーチング）・鋼板製　・樹脂製 ・鋳鉄製（　・ＭＨＡ　・ＭＨＢ　・Ｔ８Ａ　・格 子　）・
4.雨　水　の　処　置	・河川、水路（許可申請）　・道路側溝（許可申請）・地下浸透　・

○ 給　湯　設　備　工　事

1.給　湯　方　式	・中央方式　・局所方式
2.配　管　方　式	・単管式　・複管式　・上向式　・下向式　・重力式
3.給　湯　機	機 種：・温水ボイラー　・真空式温水発生機　・自然冷媒ヒートポンプ給湯機 燃 料：・重　油（　・特A　・A　・B　）　・灯 油　・都市ガス（ ・ＬＰＧ　・電 気（　単 相 ２００Ｖ）
4.湯　沸　器	形 式：・瞬間湯沸器　・貯湯湯沸器 燃 料：・灯　油　・ＬＰＧ　・都市ガス　・電 気（　単 相 ２００Ｖ）
5.循　環　ポ　ン　プ	形 式：・渦巻きポンプ　・ラインポンプ 材 質：・全砲金製　・全ステンレス製　・ねずみ鋳鉄
6.配　管　の　品　質	・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管(HTVP)　・ポリブデン管　・架橋ポリエチレン管 ・給湯用銅管（ｻｰﾓｲﾝﾁｭｰﾌﾞ）
7.配　管　の　勾　配	配管は、水抜きバルブに向けて滞留無きよう勾配を付けて配管する。

○ 消　火　設　備　工　事

1.消　火　方　式	・屋内消火栓（・１号　・２号）・スプリンクラー消火　・炭酸ガス消火・ドレンチャー消火 ・補助散水栓（２号消火栓）・ハロゲン化物消火　・泡消火　・粉末消火　・不活性ガス消火 ・フード消火　・ダクト消火　・屋外消火栓　・連結送水口　・連結散水消火　・消防用水 ・動力消火ポンプ　・消火器　・自動消火装置
2.ポ　ン　プ　類	・屋内消火栓ポンプ　・スプリンクラーポンプ　・屋外消火栓ポンプ ・非常電源　（　・発電機　・蓄電池　・エンジン　・非常電源専用受電　　）
3.消　火　栓　箱	・屋内１号消火栓箱　・屋内２号消火栓箱 ・消火器箱併設型屋内消火栓箱　・易操作性１号消火栓箱
4.消　火　器	・消火器格納箱　（・壁埋込型　・壁掛露出型　・半埋込型　　） ・取付工事　（　・含む　・含まない　・建築工事　　）
5.配　管　の　品　質	一 般：　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ40） 地中埋設部：・外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ）　・外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＰＳ） ・外面被覆鋼管（ＳＴＰＧ－370ＶＳ）　・外面被覆鋼管（ＳＴＰＧ－370ＰＳ） 二酸化炭素用：・圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ80）
6.消　火　栓　開　閉　弁	・ＪＩＳ 10Ｋ　・ＪＩＳ 20Ｋ

○ 厨房機器設備工事

1.機　器　の　寸　法	図面に記載された寸法は、その概略を示し、製造所による差違はこれを問わない。
2.燃　焼　機　器	使用ガス：　・都市ガス　・液化石油ガス

◉ ガ　ス　設　備　工　事

①配　管　材　料	一　般：⊙配管用炭素鋼鋼管（白）　・圧力配管用炭素鋼鋼管　・鋼 管 埋　設：⊙ポリエチレン被覆鋼管　・圧力配管用炭素鋼鋼管・塩化ビニル被覆鋼管 ・ガス用ポリエチレン管
2.都　市　ガ　ス	ガスメーター：・親メーター(ガス事業者の支給品)　・子メーター 引込み負担金：・不 要　・必 要（　・別途工事　・本工事　）
③液　化　石　油　ガ　ス	ガスボンベ：　・借 用　・買取り（　・ 10 kg・ 20 kg・ 50 kg・　kg）・　＿＿＿本 ガスメーター：・親メーター(ガス事業者の支給品)・子メーター 集合装置：　・バルク　・＿＿＿本組 転倒防止等：　・ボルト、チェーン（SUS製）　・図 示
4.ガ　ス　漏　れ　警　報　器	・分離形　・一体形　・別 途（電気工事）
5.埋　設　深　さ	・一般敷地内　０．５０ m以上　・敷地内車両道路　１．２０ m以上

○ 浄　化　槽　設　備　工　事

1.手　続　き　等	官公署への手続きまたは手続変更届けは、契約後 30 日以内に請負者が代行して行う。
2.測　定　表	放流水の水質について測定表を提出する。
3.処　理　種　別	・合併処理方式　・小規模合併処理
4.性　能	・ＢＯＤの除去率　９０　%以上，放流水のＢＯＤ　２０　mg/L以下 ・ＢＯＤの除去率＿＿＿%以上，放流水のＢＯＤ＿＿＿mg/L以下
5.処　理　方　式	・分離接触ばっき方式　・分離ばっき方式　・嫌気濾床接触ばっき方式
6.形　式	・工場製作ユニット　・現場施工
7.対象人員・汚水量	・処理対象人員＿＿＿人　・平均汚水量＿＿＿ m^3／日
8.送　風　機　室	仕 様：
9.防　護　さ　く	仕 様：
10.水　質　分　析	定常の使用状態に入った後，流入水及び処理水について行う。
11.浄　化　槽　設　備　士	浄化槽設備士を有する会社が施工管理を行う。また，浄化槽設備士名を書面で監督員へ通知する。

○ 昇　降　機　設　備　工　事

○ 工　事　区　分　表　（◉ 印のついたものを適用する）

項　目　名　称	建　築	電　気	設　備		別　途	備　　考
（1）仮設用電力、上下水道、電話、ガス等の加入負担金						
（2）前項に懸る工事費、使用料金その他の経費						
（3）受電後引渡しまでの電力料金						
（4）構造躯体の貫通スリーブ、枠の取付け			◉			
（5）前項に懸る補強工事			◉			
（6）天井、壁等の埋込器具の穴あけ・補強工事			◉			
（7）点検口（天井、床、壁、ピット）	◉					
（8）屋上等に設置される設備・電気機器の基礎、仕上げ						
（9）機器等の取付けに必要なアンカー及びその補強			◉			
（10）設備機器電源端子接続		◉				

D:¥川=¥IWM¥IN7030T15¥上平出改212設特2.jww

150812

辰野町役場　保健福祉課
〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地
TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307

Plot:150830

男子便所

・腰掛式防露便器	1	CS230B		
・防露式密結タンク	1	SH231BN		手洗い付き
・ウォシュレット	1	TCF6621		
・手摺＋棚付き２連紙巻き器	1	YHB61HLLC		
・自動洗浄壁掛型小便器セット	2	UFH500		乾電池タイプ
・小便器用手摺	1	T113BU2	600×480×480×34Φ	
・ハイドロセラ・フロアＰＵＳ	2	AB660K	600×600×12.5H	
・コンパクト手洗器	1	LSL870BS		
・ハンドル式単水栓	1			
・止水栓	1			
・排水金具（Ｓトラップ）	1			
・壁掛け式パネルヒーター	（1）	既存再使用	680×500×70D	
・インテリアバー	1	EWT3AG6Z	600L 32Φ	

女子便所

・腰掛式防露便器	2	CS230B		
・防露式密結タンク	2	SH231BN		手洗い付き
・ウォシュレット	2	TCF6621		
・手摺＋棚付き２連紙巻き器	2	YHB61HLLC		
・インテリアバー	2	EWT3AG6Z		
・マーブライトカウンター　ML55 型	1	オニックス程度	900W×550D×700H	
・固定ブラケット	2	M9P50A		
・調整用ブラケット	1	MA30G04		
・埋込型洗面器	1	L546U		
・立水栓	1	TLC11AR		
・排水金具（Ｓトラップ）	1	T6SM1		
・止水栓	1			
・化粧鏡	1	YM6075A	608W×760H	
・壁掛け式パネルヒーター	（1）	既存再使用	680×500×70D	
・掃除用流し	1	SK322		
・リムカバー	1	TK22		
・排水金具（Ｓトラップ）	1	T37SGEP		
・泡まつキャップ付き自在水栓	1	T130AR13		

特殊便所

・腰掛式防露便器	1	CS230B		
・防露式密結タンク	1	SH220BNS		
・ウォシュレット	1	TCF4711AK		
・手摺＋棚付き２連紙巻き器	1	YHB61HLLC		
・腰掛け式便器用手摺（スイングタイプ）	1	T114CS7R		
・壁掛け洗面器	1	L210D		
・自動給水栓	1	TEN40AX		
・止水栓	1	TL340C8U		
・排水金具（Ｓトラップ）	1			
・傾斜化粧鏡	1	LM530	528W×664H×193D	
・インテリアバー	2	EWT3BG66Z	600×600L 32Φ	
・壁掛け式パネルヒーター	1	NX-500	490×500×70D	インターセントラル(株)程度

廊下洗面所

・マーブライトカウンター　ML60 型	1	オニックス程度	900W×600D×700H	
・サイドパネル	1			
・洗面器	1	L548U		
・固定ブラケット	2	M9P50A		
・立水栓	1	TLC11AR		
・壁排水金具	1	T6PM1		
・止水栓	1			
・化粧鏡	1	YM6075A	608W×760H	
・インテリアバー	1	EWT3BG66Z	600×600L 32Φ	

玄関・ホール

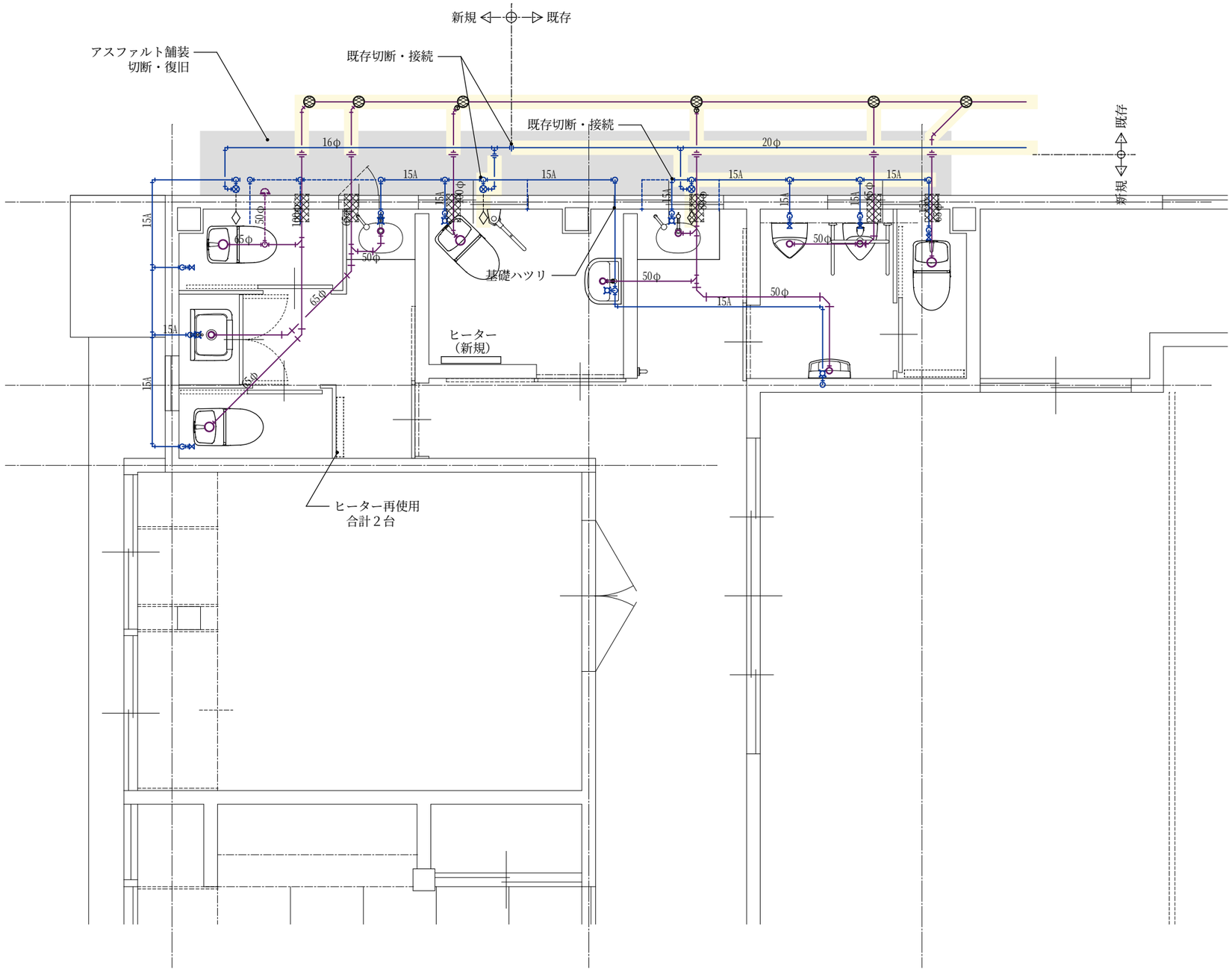
・セイフティービーム（埋込）	1	SJ-STS08	800H 32φ	四国化成(株)程度
・インテリアバー	4	EWT3AG6Z	600L 32Φ	

D:¥ﾏｲﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ¥ZN703DT15¥上平出改213設器.jww

150812

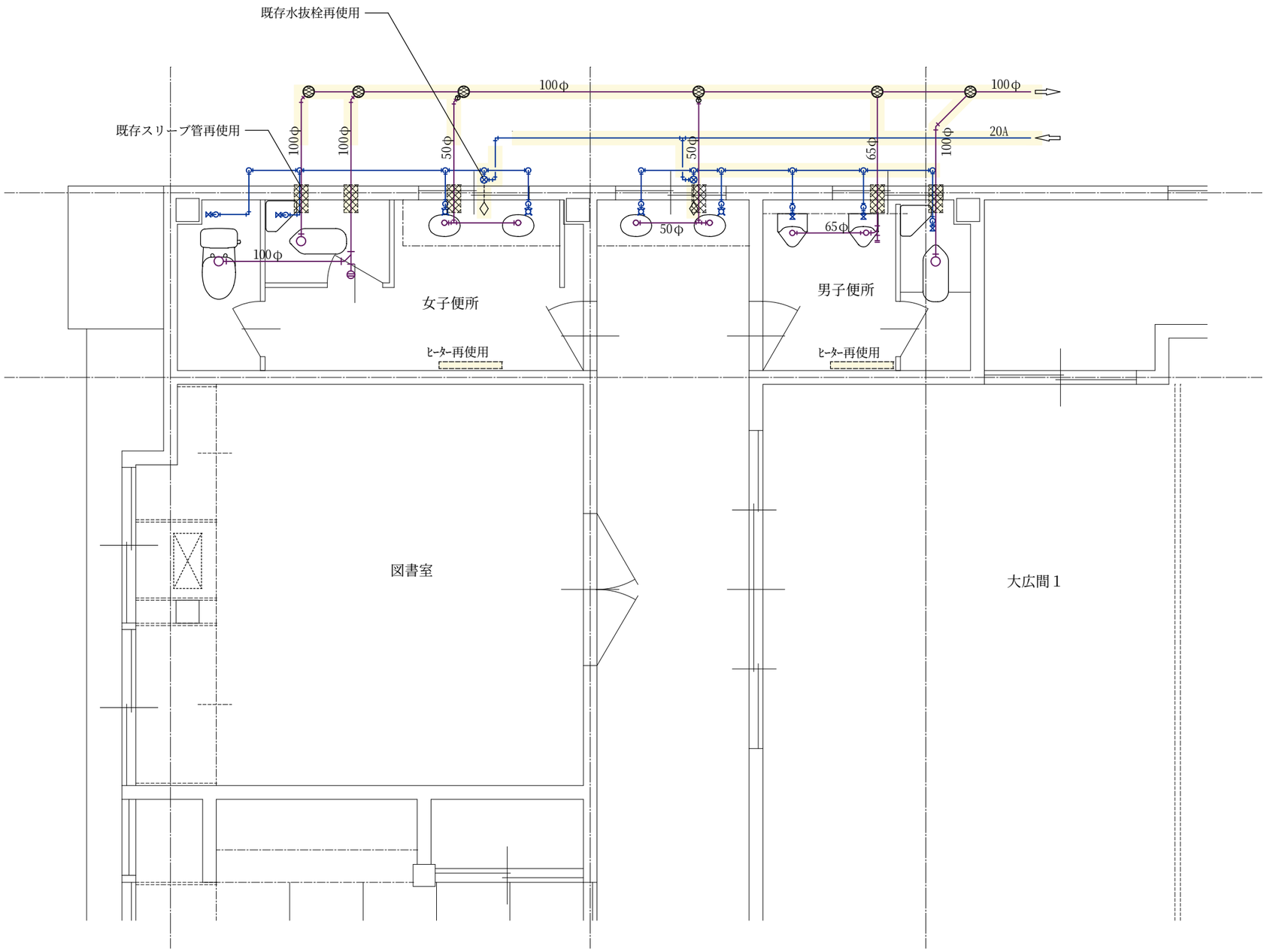
辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	213	辰野町役場 保健福祉課	
1508		〒399-0493 長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代) FAX 0266(43)3307	

Plot: 15 08 30


新規 既存
アスファルト舗装
切断・復旧
既存切断・接続
既存切断・接続
16φ
20φ
15A
15A
15A

Plot: 15 08 30

D:¥打一可INW用IN703DT15¥上平出定¥215設既.jww



既 存　給排水設備 平面図　　S：1/50

□ 解体・撤去・改修部分

□ 既存再使用部分

※ この図面は、建設時の設計図面により作製されています。
現場においては、配管の位置・管径などに差異が有ります。

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事 1508	215	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課 〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	

150810

Plot:150830

工 事 概 要

1. 工 事 名 ： 上平出介護予防センター　改修工事
2. 建 設 地 ： 上伊那郡辰野町大字平出７４５番地５　　上平出コミュニティーセンター
3. 発 注 者 ： 上伊那郡辰野町中央１　　辰野町長　加島範久
4. 工　　期 ： 平成　　年　　月　　日から　平成　　年　　月　　日まで　　日間
5. 建物概要 ：

建 物 名 称	構 造	階 数	延床面積（㎡）	備　　考
上平出介護予防センター	S 造	1 階	283.72	

6. 工事種目 ：　　（◎ 印のついたものを適用する）

種 目 名 称	今回工事	種 目 名 称	今回工事	種 目 名 称	今回工事
受 変 電 設 備		火 災 報 知 設 備		非 常 警 報 設 備	
幹 線 動 力 設 備		避 雷 針 設 備		警 備 用 配 管 設 備	
電灯・コンセント設備	◎	自 家 発 電 設 備		ガス漏れ警報設備	
電 話 設 備		電 話 機 器 設 備		屋 外 設 備	
放 送 設 備		電 気 時 計 設 備		有線電話設備(配管のみ)	
インターホン設備		ナースコール設備		太陽光発電設備	
テ レ ビ 共 聴 設 備		弱 電 設 備			

電気設備工事特記仕様書

1. 本工事に適用する本仕様書は一般共通事項に記載されたものとする。
2. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて一般共通事項覧記載の各仕様図書による。
3. 特記仕様書の適用は下記による。
   (1) 事項、対象工事は、文頭に ● 印のついたものを適用する。
   (2) 項目は、番号に ○ 印のついたものを適用する。
   (3) 細目は、文頭に ● 印または ○ 印のついたものを適用する。

1. 一般共通事項

番号	項　目	細　目・特　記　事　項
①	設計図書に関する疑義	工事契約前においては質疑応答書をもって確認する。 工事途中においては、打合協議記録簿を作成して確認する。
②	図 書 の 優 先 順 位	本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。 1.現場説明書（質疑応答書を含む） 2.特記仕様書 3.設計図・内訳明細書 4.公共建築工事標準仕様書　（平成　最新　年度版）　国土交通省大臣官房庁営繕部監修 5.同 上　機械設備工事編　（平成　最新　年度版）　国土交通省大臣官房庁営繕部監修 6.同 上　電気設備工事編　（平成　最新　年度版）　国土交通省大臣官房庁営繕部監修 7.長野県機械設備工事施工手引　（平成　最新　年度版）　長野県建設部施設課 8.長野県電気設備工事施工手引　（平成　最新　年度版）　長野県建設部施設課 9.木造住宅標準仕様書　（平成　最新　年度版）　住宅金融支援機構監修 10.標準詳細図　　国土交通省大臣官房庁営繕部監修
③	施　工　範　囲	本工事の範囲は特記仕様書及び設計図面に記載されている事項とする。
④	施　工　責　任	本仕様書は仕様の大要を示すもので図面と対照して機能上、外観上、使用上、また保守管理において当然必要と認められる工事はもちろん、記載のない事項でも自然付帯の工事は、係員の指示に従い施工する。
⑤	実施工程表及び施工計画書	実施工程表及び施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。
⑥	火 災 保 険 等	建物（施設）引渡しまで請負者は、工事目的物・工事資材等について火災保険・建設工事保険等をかけねばならない。　また、その満了日は引渡日に１ヶ月を加えた期間とする。
⑦	法　規　手　続	本工事は電気設備技術基準、内線規定、消防法、その関係法令条例および規則を遵守して丁寧に施工する。なお電力会社、通産局、その他関係官庁への手続き一切は請負者にて行う。
⑧	使　用　材　料	材料及び機器は別に示す指定メーカーより選定し、工事契約後すみやかにそれらの仕様リストを提出する。又、機器のうち中部電力（株）の認定、日本消防検定協会の検定その他関係官庁の検査を要するものはこれに合格したものを使用する。
⑨	施 工 図 承 認 図	工事施工前に施工詳細図を提出して係員の承認を受ける。機器については、構造・寸法及び仕様を記載した承認図を提出するか見本を提出し、係員の承認を受ける。
⑩	特 殊 な 材 料 工 法	共通仕様書に記載されていない特殊な材料の工法は、当該製品の指定する工法による。
⑪	工 事 標 識 の 掲 示	下記の標識を、監督員の指示する位置に掲示する。 ・工事標識　　・建設業許可票の写し標識　　・労災保険関係成立票の写し ・工事施工体系図
⑫	工　事　用　用　水	構内既存の施設：⊙利用できる（・有償　⊙無償　）　・利用できない
⑬	工　事　用　電　力	構内既存の施設：⊙利用できる（・有償　⊙無償　）　・利用できない
⑭	工　事　用　足　場	⊙別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる ・本工事に含む（関連法令、要綱に従い適切な構造のものを架構し、保守点検に努める）
15.	埋　戻　・　盛　土	・根切中の良質土（但し、埋設管の周囲は山砂、川砂または再生砂）・山砂の類
16.	残　土　処　分	・構内敷均し　　・構外搬出適切処理　・構内の指定箇所に積置き
⑰	発 生 残 材 の 処 理	⊙構外搬出適切処理 発注者に引渡しを要するもの　⊙無　・有（　　） 再生資源の利用を図るもの　⊙無　・有（　　） 特別管理産業廃棄物　⊙無　・有（　　）
18.	別 途 工 事 等 と の 取 合 い ・ 協　議	別途契約の工事については、工事行程、納まりなどについて当該業者と密接に協議し、協議に当らなければならない。なお、配管・ダクト・機器据付けに伴うスリーブ、枠入れは本工事に含み、その他は「3．工事区分表」による。
19.	定　期　報　告	工事竣工後３ヶ月、12ヶ月に点検を実施し、その結果を書面にて提出する。 上記点検においては、管理者の立ち会いの元で行うこととする。
20.	耐　震　措　置	耐震措置の計算及び施工方法は，建設大臣官房官庁営繕部監修「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成８年版）」による。 １）設計用水平地震力　機器の重量［kgf］に設計用水平震度を乗じたものとする。 なお，特記なき場合，設計用水平震度は，次による。（ 地域係数 = 1 ） 局部震度法による建築設備機器の設計用水平震度 注１）（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 ２）設計用鉛直地震力　設計用水平地震力の 1／2 とし，水平地震力と同時に働くものとする。 ３）施　工　機器，水槽，配管，電線等の施工については，大地震時においてその機能を確保するため，地震力及びそれによる変位・揺れを考慮すること。 施工方法等については，国土交通省国土技術政策総合研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針（2005年版）」による。 ４）そ の 他　必要な機器及び支持材等の耐震計算書等を提出し，監督員の確認を得ること。
21.	床 下 の 吊 り 金 物	・合成樹脂被覆寸切りボルト　・ステンレス鋼
22.	天 井 の 吊 り 金 物	・電気亜鉛めっき鋼　　・ステンレス鋼　　・合成樹脂被覆寸切りボルト ・床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサートとする
23.	ス　リ　ー　プ	スリープに用いる材料で水密を要しない部分の壁，床版及び，梁貫通スリーブの径200Φ以下のものは監督員と協議のうえ紙製などの仮枠を使用することができるが、配管工事前に必ず撤去する。
㉔	工 事 の 引 渡 し	本工事の完成後は、絶縁抵抗その他関係試験をするとともに電力会社、通産局及び関係官庁の試験に合格したのち引渡しとする。
㉕	工 事 保 証 ・ そ の 他	⊙建物竣工後（　2　）年間 本工事においては、工事完成引渡し後でも工事の不完全及び納入機器や部品の欠陥に原因のある故障は１ヵ年保証し、無償で修理又は取替えを行う。 なお、いわゆる"瑕疵"によるものは、保証期間後においても誠意を持って対処すること。
㉖	工事記録・完成図等	監督員の指示により、下記のものを提出する。 書類は、A４版２穴バインダーファイルへ一括綴りとし、表題・背文字を記入する。 ⊙施工計画、検査に関するもの：（　2　）部 ⊙施工図データ　⊙工事写真、竣工写真　⊙工事日誌　⊙工事打合せ記録簿 ⊙配線、機器類の試験表＋社内検査成績表　⊙監督員の指示したもの ⊙完成写真（改修工事の時は、着手前と完成写真を左右に入れたもの）：（　2　）部 撮影箇所：　・外 部（　　）箇所　　・内 部（　　）箇所 ⊙工事写真：　⊙電子納品　　・べた焼き　　⊙サービス判　（　2　）部 ⊙工事完成図：（　2　）部 ⊙完成図ＣＡＤデータ（ＣＤ－Ｒ）・Ａ２版２ツ折り製本　⊙Ａ３縮小版２ツ折り製本 ⊙保全に関するもの：（　2　）部 ⊙機器取扱説明書　⊙性能試験成績表　⊙機器一覧表（製造所・型式記入） ・官公庁届出書類　⊙工具、予備品　⊙工事関係資料等引渡書

2. 特 記 事 項

◉ 一 般 共 通 事 項

①	保 温 ・ 結 露 防 止	・外部に面する壁、天井面の建築工事でＥＰ板（スタイロフォームなど）の打込み箇所に取付ける位置ＢＯＸなどは結露防止処理を行う。
②	合成樹脂製可とう管	・合成樹脂製可とう管は、ＰＦ管(一重管)とし、温度による分類はタイプ－２５型とする。
3.	２種金属製可とう管	露出箇所：　・ビニル被覆あり　・ビニル被覆なし 隠蔽箇所：　・ビニル被覆なし　・ビニル被覆なし
④	電線本数、管路など	・分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線経路、電線本数、管径などは、監督員の承諾を受けて、変更しても差しつかえない。
5.	呼　び　線	・長さ１ｍを越える入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
⑥	再 使 用 機 器	・取外し再使用する機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ、取付ける。
⑦	塗　装　工　事	外面めっき電線管の露出配管・ポールには塗装（調合ペイント２回塗り）を施す。 施工箇所：　・屋 内　・屋 外（　　）
8.	高圧機器の防振処置	高圧機器のうち、振動又は騒音を発するものを屋内に設置する場合は、防振処置を施す。
⑨	低圧ケーブル配線端末	低圧の架橋ポリエチレンケーブルなどの端末接続部で、屋外の露出される箇所は、三叉分岐管を用いた処理とする。
10.	受 変 電 設 備 の 高圧ケーブル配線端末	・差し込み絶縁筒(プレハブ）式　・合成樹脂モールド式　・
⑪	接　続　部　心 線 の 色 別	EM - EEF ３芯ケーブルを用いた配線で１芯を接地線として用いる場合には、当該心線を「緑色」としたケーブルを使用する。
11.	地　中　配　線　埋 設 標 識 シ ー ト	埋設シートは深さ０．３ｍ 程度に埋設し、ポリエチレンクロス２倍重ねを使用する。
12.	追　記　事　項	

○ 電 力 引 込 設 備 工 事

1. 受 電 電 気 方 式	・高 圧　　・低 圧 ・電 灯　１φ　３Ｗ　200／100Ｖ　60Hz ・動 力　３φ　３Ｗ　200Ｖ　60Hz ・地 中　　・架 空　　・連 接
2. 契　約　種　別（低圧電灯・電力）	・電 灯　　・従量電灯Ｂ　SB 60 A　　・従量電灯Ｃ　＿＿＿ KVA ・時間帯別　＿＿＿ KVA　　・３時間帯別　＿＿＿ KVA ・動 力　　・負荷設備＿＿＿ KW　・主開閉器　＿＿＿ A ・中部電力の契約容量は、発注者・監理者と協議の上、決定する事。

○ 受 変 電 設 備 工 事

1. 配　電　盤	・屋内型　・屋外型　・キュービクル　・オープン
2. 主 遮 断 装 置	・限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PF-S）・高圧交流遮断機（ＣＢ） ・定格遮断電流　＿＿＿ KA
3. 設　備　容　量	・変圧器総容量　＿＿＿ KVA
4. 変　圧　器	・電 灯　＿＿＿ KVA　・動 力　＿＿＿ KVA
5. 進相用コンデンサ	＿＿＿ KVA
6. 引 込 ケ ー ブ ル	・ＣＶＴ３８　　・ＣＶＴ６０
7. 測定用補助接地極	・設置する　　・設置しない
8. 追　記　事　項	

○ 幹 線 設 備 工 事

1. 工　事　種　別	・金属管工事　　・合成樹脂管工事
2. 幹 線 サ イ ズ	・電 灯　　ＣＶＴ　２２ＳＱ ・動 力　　ＣＶＴ
3. 追　記　事　項	既存分電盤のＭＣＢの取替工事を行う。（４回路 → ８回路）

○ 動 力 設 備 工 事

1. 工　事　範　囲	・配 管　　・配 線　　・制御盤類
2. 電　気　方　式	１φ１００Ｗ　２００Ｖ
3. 施　工　方　法	分　岐：・合成樹脂管配線　　・金属管配線 屋外露出：・合成樹脂管配線　　・金属管配線 ボックス：・合成樹脂製　　・金属製　　・ケーブル配線
4. 監　視　制　御	・有 り（ ・中央監視　　・警報のみ ）・無し
5. 追　記　事　項	

◉ 電 灯 ・ コ ン セ ン ト 設 備 工 事

① 電　気　方　式	電灯照明：　⊙1φ2W100V　　・1Φ2W200V コンセント：　⊙1φ2W100V　　・1Φ2W200V
② 工　事　種　別	・金属管工事　　・合成樹脂管工事　　⊙ケーブル工事
③ 配　線　器　具	形 式：⊙スイッチ、コンセントは大角形とする。 リモコン器具：・リモコン器具は多重電送(２線)式とする。 プレート種別：⊙フルカラー　　・ワイド　　・モダン　　・新金属
4. 追　記　事　項	

D:¥ｱﾙﾊﾞﾑWIN7030TI5¥上平出改修工事特1.jww

1508

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	E11	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課
1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307

Plot: 150830

◉ 照明器具設備工事

① 蛍光灯器具	安定器：⊙40W以上は高力率、40W未満は低力率 ランプ：・パルック　・白色　⊙その他（LED）
2. 誘導灯	法の適用：・有り　・無し
3. 非常照明	法の適用：・有り　・無し 非常電源：・電池内蔵型　・予備電源別置型 照明器具：・蛍光灯　・白熱灯 点滅方式：・常時点灯　・非常時点灯
4. 屋外灯ポール内開閉器	・防水キャッチ　・ポール用ジョイントボックス
5. 天井ブローイング枠	天井断熱材ブローイング止め枠は鋼板とし、照明器具を取外しても落下しない構造とする。
⑥ 追記事項	既存機器のスイッチの変更、BOX・プレートの取替えを行う。

◉ 電話設備工事

1. 工事種別	・配管のみ　・配線　・配線、ジャック共 ・金属管工事　・合成樹脂管工事　・ケーブル工事
② 追記事項	既存配管、配線の仮配線および復旧を行う。

◉ 有線電話設備工事

1. 工事種別	・配管のみ　・配線　・配線、ジャック共 ・金属管工事　・合成樹脂管工事　・ケーブル工事
② 追記事項	既存配管、配線の仮配線および復旧を行う。

○ テレビ共聴設備工事

1. 工事種別	・ケーブルTV　・アンテナ
2. TVアンテナ	・UHF　・BS　・CS
3. 増幅器	・有り（ 45 db 2 台）　・無し
4. 追記事項	

○ インターホン設備工事

1. 種別	・カメラ付ドアホン　・インターホン　・チャイム
2. 子器	・有り（ 2 台）　・無し
3. 機器	・本工事　・支給品
4. 追記事項	

○ 拡声設備工事

1. アンプ	出力（ 30 W）
2. 形状	・卓上型　・移動型
3. 機器	・本工事　・支給品
4. 追記事項	・スピーカー、マイクコンセント設置

◉ 自動火災報知設備工事

1. 受信機	・P型 2級 1回線　・移動型
2. 副受信機	・有り（＿＿＿窓）　・移動型（ ＿＿＿＿室設置 ）
3. 総合盤	・有り　・無し
④ 追記事項	既存配管、配線の仮配線および復旧を行う。 既存機器の移設または、新規取付

○ LAN配線設備工事

B. 方式	・NTT　・ケーブルTV
2. 工事種別	・配線　・配管のみ
追記事項	

○ 設備機器工事

1. エコキュート	機械器具：・本工事　・別途工事　・支給品 工事範囲：・設置工事　・電源工事　・リモコン配線工事　・基礎工事 メーカー：　品番：
2. 電気温水器	機械器具：・本工事　・別途工事　・支給品 工事範囲：・設置工事　・電源工事　・リモコン配線工事　・基礎工事 メーカー：　品番：
3. IHクッキングヒーター	機械器具：・本工事　・別途工事　・支給品 工事範囲：・設置工事　・電源工事 メーカー：　品番：
④ パネルヒーター	機械器具：・本工事　⊙別途工事　・支給品 工事範囲：・設置工事　⊙電源工事　・リモコン配線工事 メーカー：　品番：
5. エアコン	機械器具：・本工事　・別途工事　・支給品 工事範囲：・設置工事　・電源工事　・リモコン配線工事　・基礎工事 メーカー：　品番：
⑥ 換気扇	機械器具：⊙本工事　・別途工事　・支給品（　浴室 工事範囲：⊙設置工事　⊙電源工事　・リモコン配線工事（　・浴室　・　） 換気方式：・24時間換気　⊙局所換気 ダクト：・スパイラルダクト　⊙フレキシブルダクト フード：品質　・アルミ　・着色アルミ　⊙ステンレス　・硬質塩ビ 付属品　⊙ガラリ　・防虫網　・防火ダンパー　・風圧式シャッター スイッチ：・24時間換気スイッチ　・ONピカ+24時間表示　・ONピカ ⊙人感センサー付き（照明器具連動／便所）　・湿度センサー付き ・支給品取付（・浴室　・　）
7. 太陽光発電	機械器具：・本工事　・別途工事　・支給品 工事範囲：・設置工事　・電源工事　・リモコン配線工事　・基礎工事 メーカー：　品番：

3. 工事区分表 （◎ 印のついたものを適用する）

項目名称	建築	電気	設備		別途	備考
(1) 仮設用電力、上下水道、電話、ガス等の加入負担金						
(2) 前項に懸る工事費、使用料金その他の経費						
(3) 受電後引渡しまでの電力料金						
(4) 構造躯体の貫通スリーブ、枠の取付け						
(5) 前項に懸る補強工事						
(6) 天井、壁等の埋込器具の穴あけ・補強工事		◎				
(7) 点検口（天井、床、壁、ピット）						
(8) 屋上等に設置される設備・電気機器の基礎、仕上げ						
(9) 機器等の取付けに必要なアンカー及びその補強						
(10) 電話機器と配線取付け工事						
(11) テレビ電波障害工事及び調査に関する費用						
(12) エアコン据付工事						
(13) 換気扇取付工事		◎				
(14) 設備機器電源端子接続		◎				

4. 機器取付高さ （機器取付高さは下記を標準とする）

機器名称	測点	取付高(mm)	機器名称	測点	取付高(mm)
◎ 共通			◎ 時計、拡声器		
取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	親時計	スイッチ操作部	750～1,500
引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200	壁掛形子時計	床上～中心	天井高×0.90
警報盤	床上～中心	1,500	壁掛形スピーカー	床上～中心	天井高×0.90
			アッテネータ	床上～中心	1,200～1,300
◎ 電灯					
分電盤（住宅用を除く）	床上～上端	1,900以下	◎ 表示		
ブラケット（一般用）	床上～中心	2,100～2,300	表示盤	床上～中心	天井高×0.90
ブラケット（洗面用）	鏡上端～中心	150	壁付き発信器	床上～中心	1,300
ブラケット（階段踊場）	床上～中心	2,100～2,500	ブザー	床上～中心	天井高×0.90
スイッチ（一般用）	床上～中心	900～1,200	押しボタン	床上～中心	1,300
スイッチ（身障者用）	床上～中心	1,000～1,100	〃（身障者用）	床上～中心	900
コンセント（一般用）	床上～中心	300	身障者用表示灯	床上～中心	1,800
コンセント（和室）	床上～中心	150			
コンセント（便所等）	床上～中心	500	◎ インターホン		
コンセント（台上）	台上～中心	150～200	壁付きイナターホン	床上～中心	1,500
コンセント（身障者用）	床上～中心	400～1,100	〃（身障者用）	床上～中心	1,100
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以下	壁付位置ボックス(一般)	床上～中心	300
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	壁付位置ボックス(和室)	床上～中心	150
◎ 動力					
壁掛形制御盤	床上～上端	1,800	◎ テレビ共聴受信		
手元開閉器	床上～中心	1,200～1,300	機器収容箱	床上～中心	天井高×0.90
操作ｽｲｯﾁ、押しボタン	床上～中心	1,200～1,300	ｱｳﾄﾚｯﾄボックス(一般)	床上～中心	300
			ｱｳﾄﾚｯﾄボックス(和室)	床上～中心	150
◎ 電話					
室内端子盤	床上～下端	300	◎ 火災報機		
中間端子盤	床上～中心	1,500	受信機	床上～操作部	800～1,500
集合保安器箱	床上～中心	天井高×0.90	副受信機	床上～操作部	800～1,500
壁ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ（一般用）	床上～中心	300	機器収容箱	床上～中心	800～1,500
壁ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ（和室）	床上～中心	150	発信器	床上～中心	800～1,500
			ベル	床上～中心	天井高×0.90
			消火栓表示灯	床上～中心	天井高×0.90

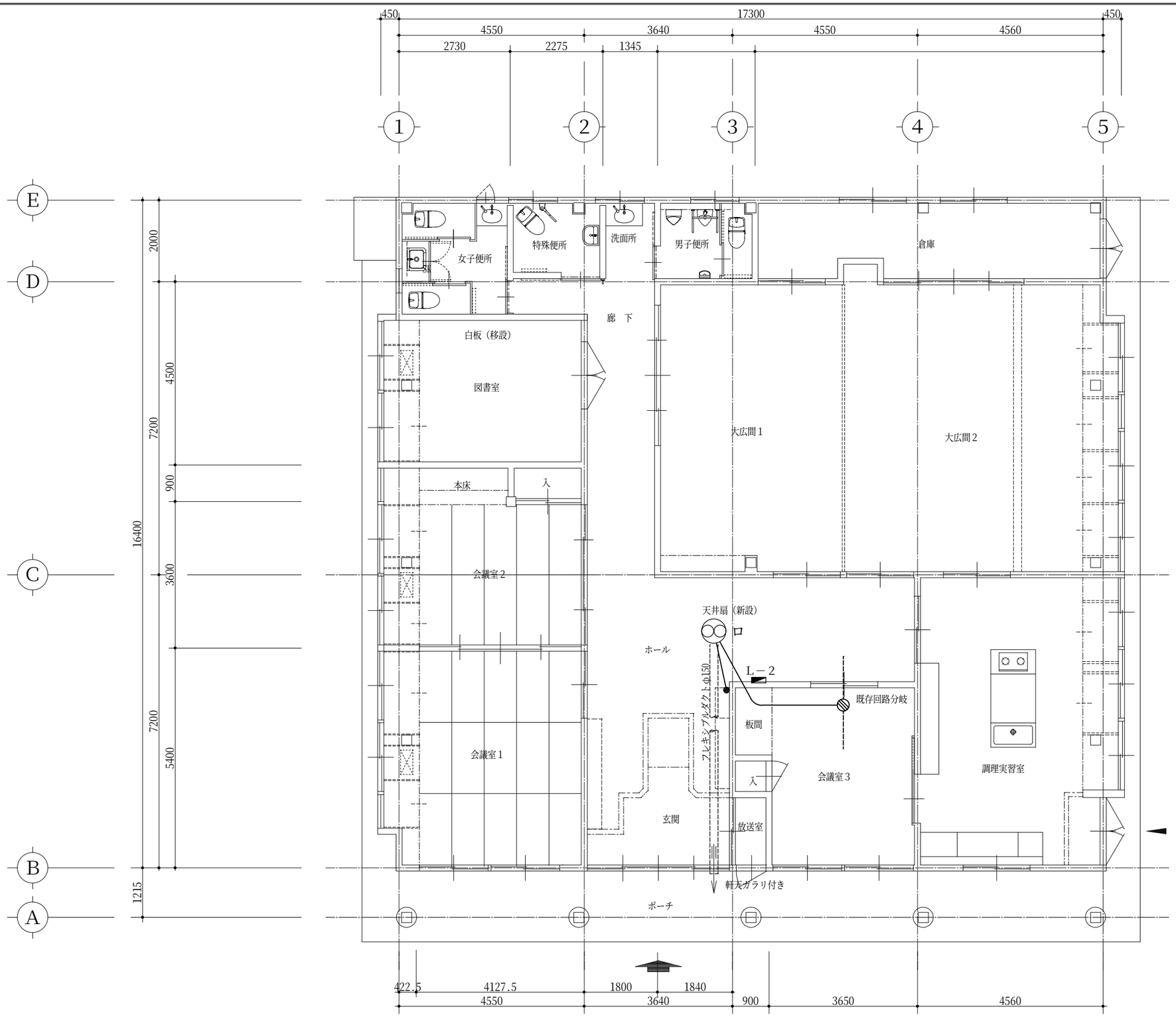
5. 主要機材メーカーリスト

1. 電線管及び付属品	・パナソニック・電成　・ミライ
2. 盤類	・パナソニック・東芝　・日東　・テンパール　・日新　・内外
3. 照明器具	・パナソニック・東芝　・三菱　・ダイコー　・岩崎　・ヤマギワ
4. 配線器具	・パナソニック・東芝
5. 放送機器	・パナソニック・東芝　・ビクター　・TOA
6. テレビ共聴	・マスプロ　・DX　・パナソニック
7. 電気時計	・パナソニック・東芝
8. 電線・ケーブル	・住友　・藤倉　・古河　・日立　・矢崎　・三菱　・愛知
9. インターホン	・パナソニック・東芝　・アイホン　・TOA
10. 火災報知機	・能美　・ホーチキ　・ニッタン　・パナソニック
11. 発電機	・三菱　・ヤンマー　・クボタ　・パナソニック
12. 太陽光発電装置	・サンヨー　・三菱　・京セラ　・シャープ

D:¥川一田IMW11N7030T15¥上平出改修E12電特2.jww

150812

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	E12	辰野町役場　保健福祉課	
1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	



改 修 コンセント配線設備 平面図　　S：1/50

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	E13	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課	
1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	

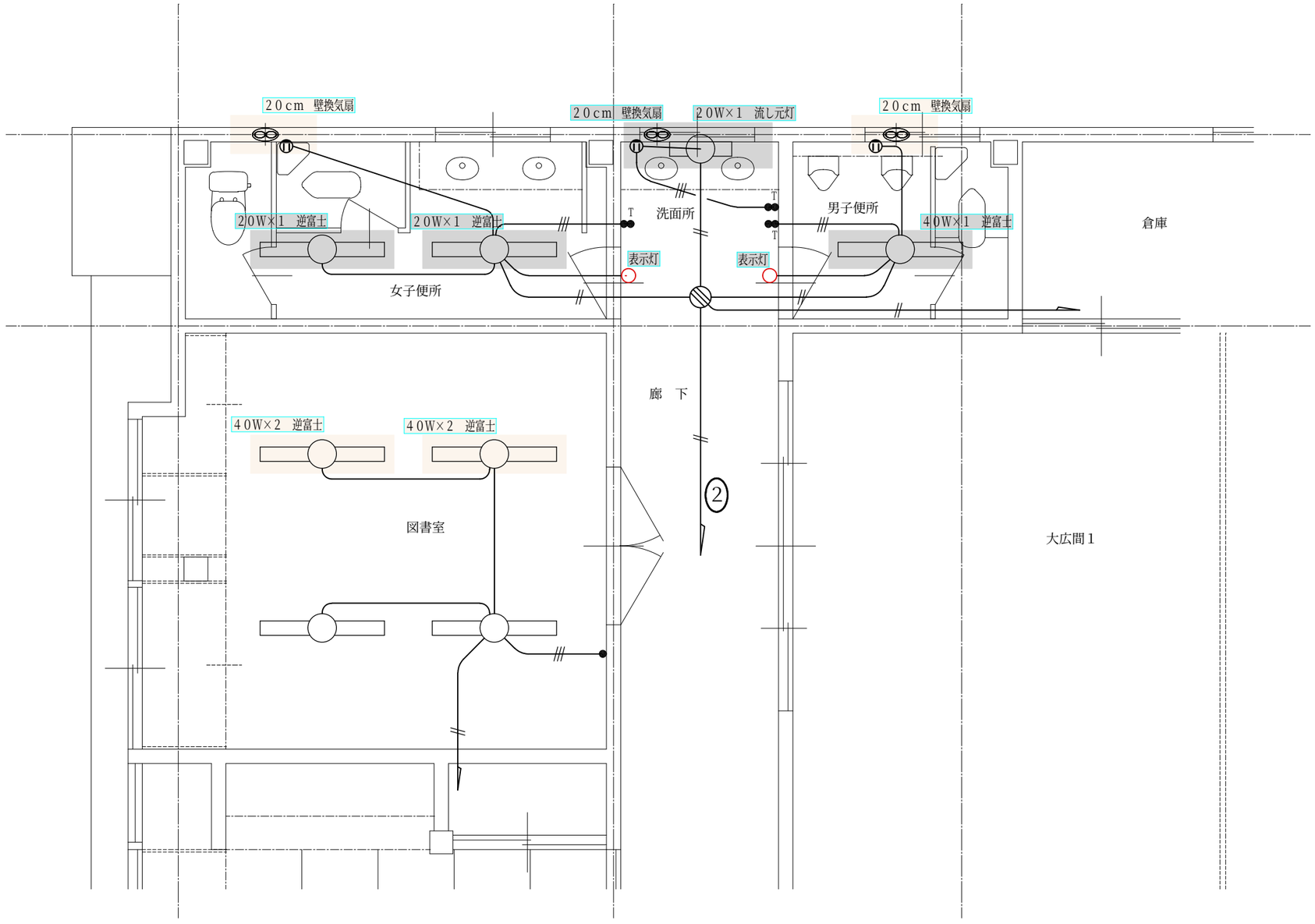
Plot: 150830

D:¥JW=WIN¥IN7030T15¥上平出介護予防センター改修E13電平.jww

150812

Plot: 150830

D:¥工事¥TIAWIN7/03DT15¥上平出介¥E14既灯.jww



解体・撤去・改修部分

既存再使用部分

1 階 平面図

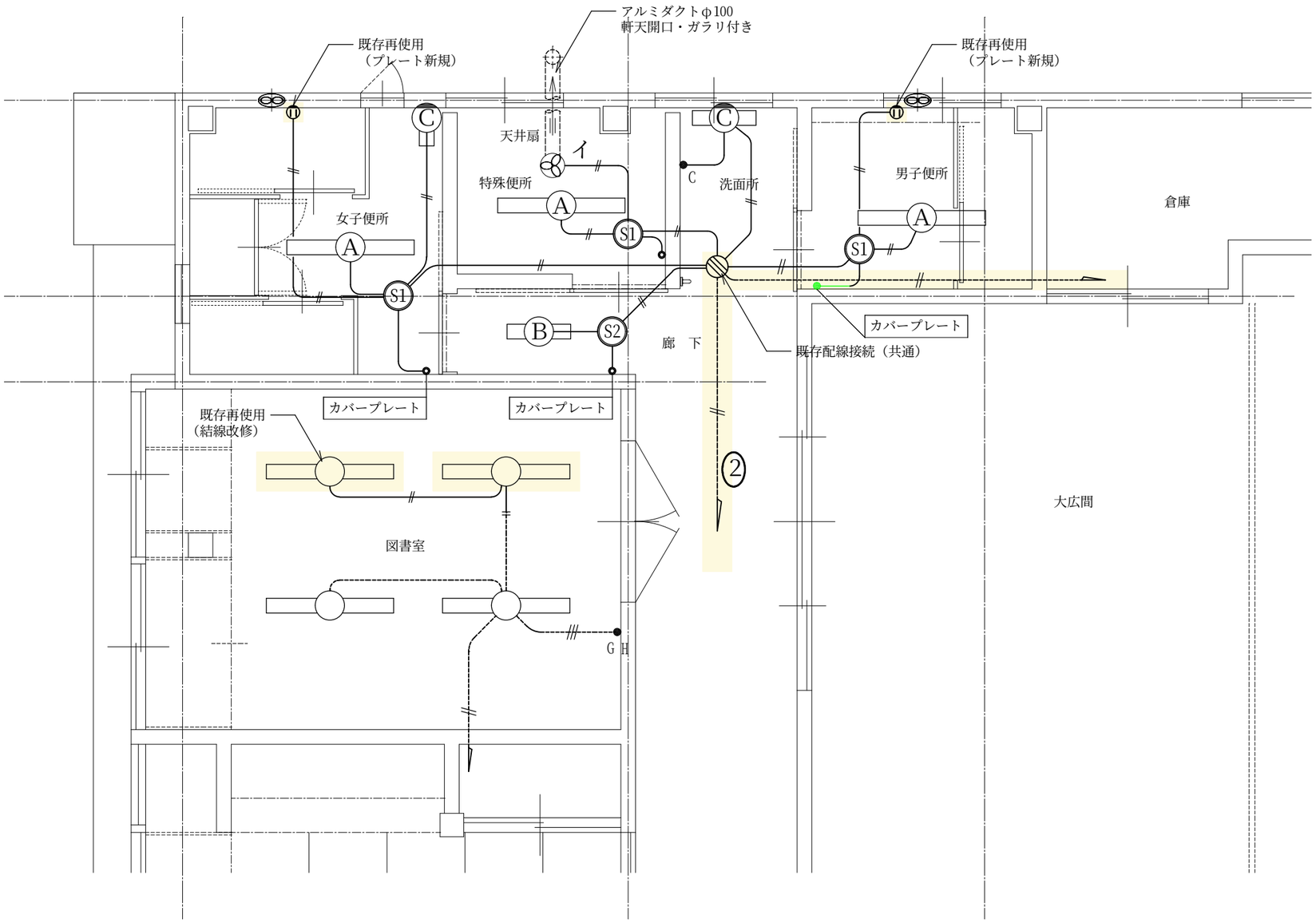
既 存 電灯配線設備 平面図　　S：1/50

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	E14	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課	
1508		〒399-0493 長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代) FAX 0266(43)3307	

150812

Plot: 150830

D:¥工事¥IWAWIN7030T15¥上平出介¥E15改灯.jww



既存再使用部分

1　階　平面図

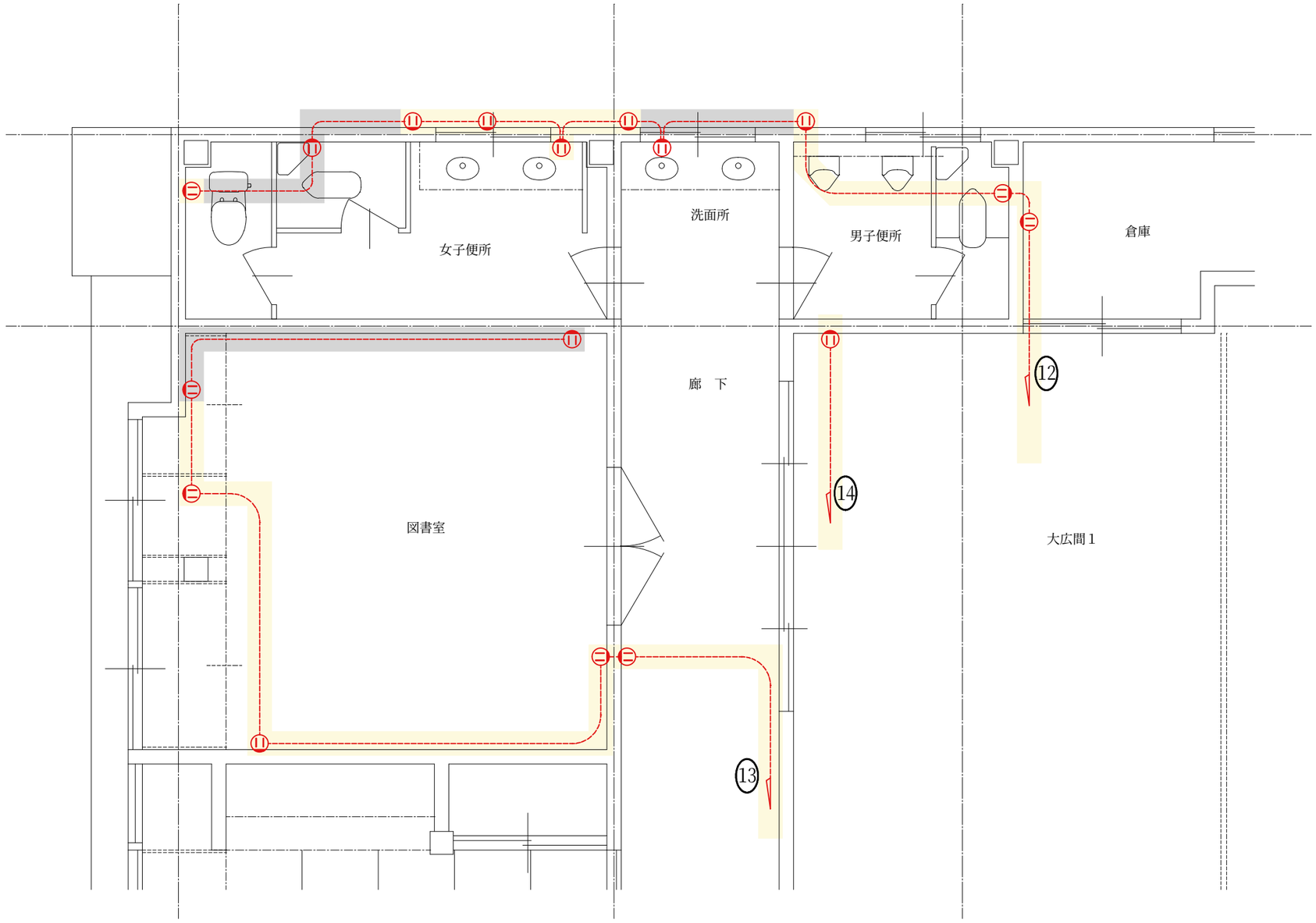
改 修 電灯配線設備 平面図　　S：1/50

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	E15	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課	
1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	

150812

Plot: 150830

D:¥工事=WAWIN7030T15¥上平出介護予防E16改E-j.jww



解体・撤去・改修部分

既存再使用部分

１　階　平面図

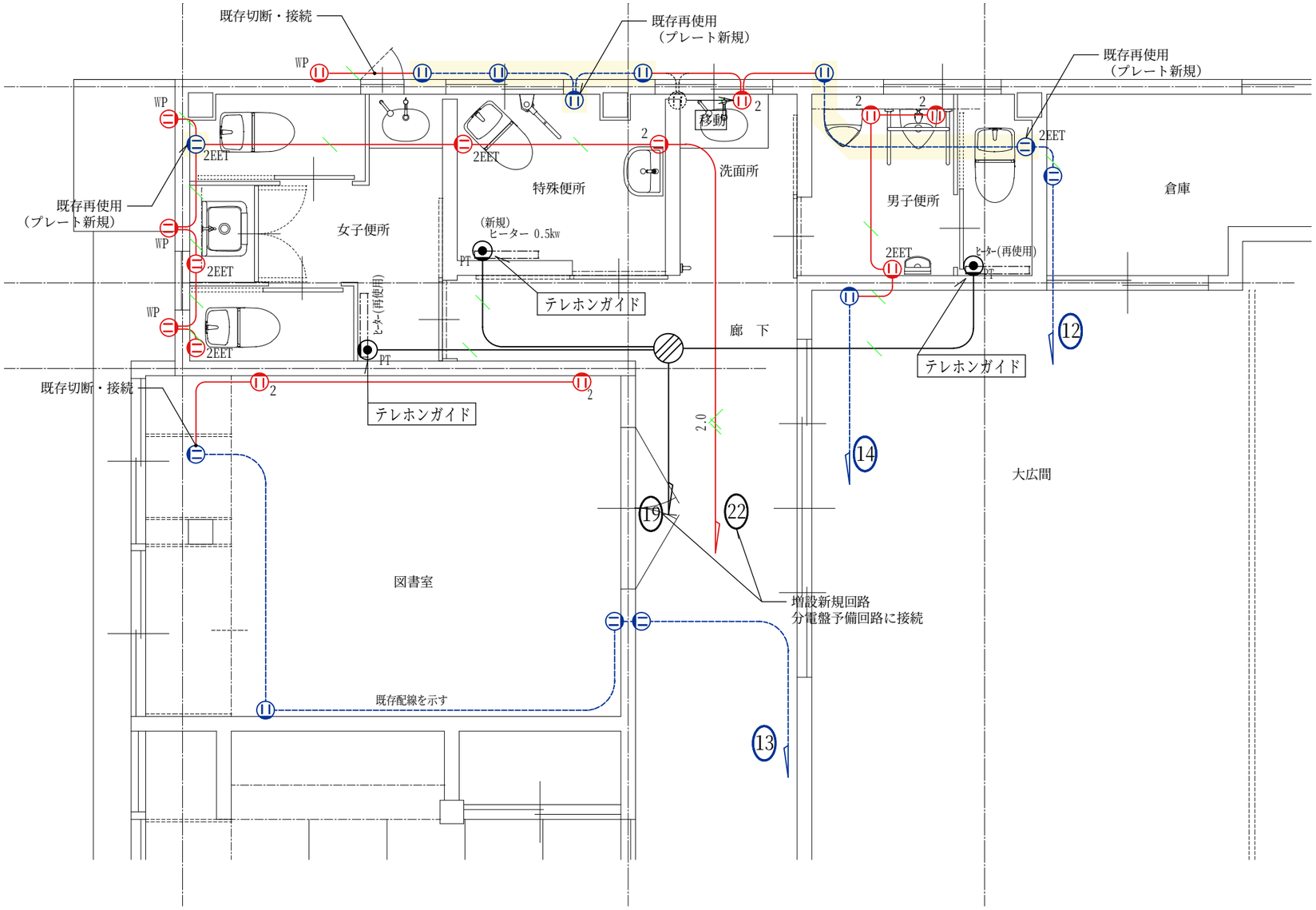
既 存 コンセント配線設備 平面図　　S：1/50

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	E16	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課	
1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	

150812

Plot: 150830

D:¥工事¥IWAWIN7030T15¥上平出介護¥E17改ユニット.jww



既存再使用部分

1　階　平面図

改 修 コンセント配線設備 平面図　　S：1/50

辰野町平出　上平出介護予防センター　改修工事	E17	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課	
1508		〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307	

150812

Plot:150830

D:¥ﾌｫﾙﾀﾞ¥DENCLE¥20203TLS¥上平出改修20器具.jww

A	直付型４０形Dスタイル　Ｗ２３０

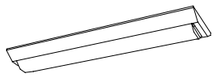
３ 台

一般タイプ、３２００｜ｍタイプ
定格出力型　電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白
光源寿命：４００００時間（光束維持率８５％
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

直付
ＸＬＸ４３０ＤＥＮＣＬＥ９　　パナソニック電工

B	直付型２０形Dスタイル　Ｗ１５０

１ 台

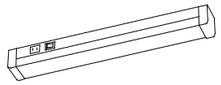


一般タイプ、１６００｜ｍタイプ
定格出力型　ボルトフリー（１００～２４２Ｖ）
本体：鋼板（白色粉体塗装
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白
光源寿命：４００００時間（光束維持率８５％
昼白色（５０００Ｋ）
Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

直付
ＸＬ２２５ＰＦＶＫＬＥ９　　パナソニック電工

C	ＦＬ２０Ｗ×１　ブラケット

２ 台



器具光束８６５｜ｍ、消費電力１２Ｗ、電圧１００Ｖ
Ｒａ８３、昼白色タイプ（５０００Ｋ）
カバー：プラスチック（乳白
スイッチ付、コンセント付
拡散タイプ、両面化粧タイプ
天井直付型・壁直付型

ＨＷ２８００Ｅ　　パナソニック電工

イ	天井埋込型換気扇

１ 台

本　体：樹脂製
羽　根：樹脂製
ルーバー：樹脂製
適用パイプ：呼び径Φ100㎜

風圧式高気密シャッター付き・耐湿仕様
ＦＹ－１７Ｃ　　パナソニック電工

ロ	天井埋込型換気扇

１ 台

本　体：樹脂製
羽　根：樹脂製
ルーバー：樹脂製
適用パイプ：呼び径Φ150㎜

風圧式高気密シャッター付き・耐湿仕様
ＦＹ－３８ＦＰ７　　パナソニック電工

照 明 器 具 姿 図

150812

辰野町平出	上平出介護予防センター　改修工事	E20	辰 野 町 役 場　保 健 福 祉 課
1508			〒399-0493　長野県上伊那郡辰野町中央１番地 TEL 0266(41)1111(代)　FAX 0266(43)3307